取扱説明書

ポータブル ブルーレイ™ / DVD プレーヤー

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

BP690

P/NO : MFL67201937

http://www.lg.com/jp

安全上のご注意

注意

感電の危険あり開けないでください

注意: 感電の危険性をなくすためにカバー(または裏面)を開けないでください。製品内部にはお客様ご自身で修理できる部品はございません。修理が必要な場合は、当社カスタマーセンター又は、ご購入店へご相談ください。

正三角形内の稲妻形矢印マークは機器内部の絶縁されていない危険な電圧により感電の危険があることを警告するものです。

正三角形内の「!」の表示は注意を促すマークで、本製品付属の取扱説明書に、操作や保守での重要な指示が記載されていることを示しています。

警告: 火災や感電を防止するため、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

警告: 本機を本棚などの狭い場所に設置しないでください。

注意: 開口部を塞がないでください。製造メーカーの指示に従って設置してください。
キャビネットの溝や開口部は、本製品が正常に動作し、過熱を防止するためのものです。本製品をベッドやソファー、カーペットなどの上に置いて、開口部を絶対に塞がないでください。適切な換気があり、製造メーカーの指示が守られている場所でない限り、本製品を備え付けの本棚やラックに置かないでください。

注意: 本製品はレーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書を熟読し、今後の参照のために保管してください。機器の修理点検が必要な場合は、当社カスタマーセンターへにお問合わせください。
ここに規定された以外の手順による操作や調整を行うと、危険なレーザー放射にさらされる可能性があります。
レーザービームの直視を避けるために、筐体は開けないでください。内部では可視のレーザービームが照射されています。レーザービームをのぞき込まないでください。

クラス1 レーザー製品
光学器具で直接ビームを
見ないでください。

電源コンセントに関するご注意

電源コンセントの定格負荷を超える使い方はしないでください。電源コンセントの過負荷、ゆるくて損傷している電源コンセント、延長コード、擦り切れた電源コード、絶縁体がひび割れ損傷したコードを使用するのは危険です。いずれの場合も、感電や火災の原因になります。機器の電源コードは定期的に点検し、破損や劣化がある場合はコンセントからコードを抜き、製品のご使用を中止し、当社カスタマーセンターへご相談ください。電源コードは、曲げたり、ねじったり、締めつけたり、ドアを閉める際に挟んだり、踏みつけるなど、物理的や機械的に不適切な使用をしないように注意してください。プラグや電源コンセント、製品本体のコード接続部分は特に注意してください。主電源を切る場合は、本体の電源プラグを抜いてください。本製品を設置の際は、近くにコンセントがあることを確認してください。

- 指定のACアダプター、シガー電源アダプターをお使いください。指定外のACアダプター、シガー電源アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグのほこり等は定期的にとってください。プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 電源コンセント、シガー電源アダプターの入力プラグは根元まで確実に差し込んでください。差込が不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。痛んだプラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

製品から安全に乾電池または電池パックを取り出す方法: 古い乾電池または電池パックを取り外す場合は、取り付けた時と逆の順序で行ってください。環境汚染を防止し、人や動物の健康への脅威を引き起こさないために、古い乾電池または電池パックを適切な容器に入れ、指定の収集場所に置いてください。乾電池や電池パックを他の廃棄物と一緒に処理しないでください。火の近くや日光があたる場所など、極度な高温になる場所に電池を置かないでください。

注意:

- 本機が水滴やはね水を受けないように、液体の入った花瓶などを本体の上に置かないでください。
- 通気をよくするための機器の回りの最小間隔、5cmを下回らない間隔。
- 通気口を新聞やテーブル・クロス、カーテンなどで覆って、通気を妨害しないでください。
- 裸火を機器に近づけないでください。
- 本機内部のリチウム電池を正しく交換しないと破裂の可能性がありますので、ユーザー自身での交換は避け、当社カスタマーセンターにお問合せください。
- 当機器は、熱帯から温帯にかけての地域のみで使用してください。
- イヤホンやヘッドホンからの音圧が強いと、聴力障害が生じる恐れがあります。

車内使用時の注意

- シガー電源アダプターはDC12Vのマイナスアース車でお使いください。プラスアースの車に使用すると、火災や故障の原因になります。
- シガー電源アダプターは運転の妨げにならないように取り付けてください。接続したコードなどに引っかかり運転に支障をきたすと、交通事故やけがの原因になります。
- 感電や本機、車両へのダメージを避けるため、必ずシガー電源アダプターを先にシガレット・ライター・ソケットから抜いて、本体から電源プラグを取り外してください。
- シガー電源アダプターには 3 A/250Vの保護ヒューズが取り付けられています。
- シガー電源アダプターを車のシガレット・ライター・ソケットを抜く場合は、エンジンの始動中に行ってください。
- 車からの供給電圧が約10Vを下回ると、本機が正しく作動しなくなる場合があります。

異常に温度が高くなるところに置かないでください

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機やバッテリー、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますので、ご注意ください。

本体が電源コンセントに接続されているときは、本体の電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

本機は主電源プラグを遮断装置として使用しております。 主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにして下さい。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

コイン電池は誤った使いかたをしないでください

- 指定以外のコイン電池を使わない
- ⊕ と ⊖ は逆に入れない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

使用上のご注意

- ヘッドホン接続前に音量を下げてください。音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従って使用してください。本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。
- 液晶表面をつかんで持ち上げたり、運んだりしないでください。落下すると、けがの原因になることがあります。また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

著作権に関するご注意

- AACS(高度アクセスコンテンツシステム)は、DVDフォーマットにCSS(コンテンツスクランブルシステム)が使用されているのと同様に、Blu-rayディスクフォーマットのコンテンツ保護システムとして承認されており、AACS保護コンテンツの再生、アナログ信号出力などに一定の制約を課しています。本製品の生産後にAACS により承認か変更、またはその両方が行われる可能性があるため、お客様の購入時期により製品の動作や制限が異なります。
- また、BD-ROMマークやBD+がBlu-rayディスクフォーマットのコンテンツ保護システムとして使用されており、BD-ROMマークおよびBD+保護コンテンツ再生時などに一定の制約を課しています。AACS、BD-ROM Mark、BD+、または本製品に関する詳細については、当社カスタマーセンターにお問い合わせください。
- BD-ROM や DVD ディスクの多数が複製防止のために暗号化されています。このため本機は、直接テレビと接続し、ビデオデッキは接続しないでください。ビデオデッキに接続すると、不正コピー防止機能のディスクで画像が乱れる原因となります。
- 本製品は、米国特許及び他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用にはRovi Corporationによる認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または用途の限られた視聴のみに使用されるようになっています。解析や分解は禁止されています。
- 米国著作権法およびその他の国の著作権法の下で、無断で録音・録画、利用、展示、頒布をすること、またテレビ番組、ビデオテープ、BD-ROM ディスク、DVD、CD やその他の媒体の編集をすることは、民事や刑事責任またはその両方を科せられる場合があります。

目次

1 はじめに

2 接続

3 システム設定

4 操作

5 トラブルシューティング

6 付録

ご使用の前に

再生可能なディスク、およびこの取扱説明書で使用される記号

メディア/用語	ロゴ	記号	説明
Blu-ray	Blu-ray Disc	BD	• 販売やレンタルされている映画などのディスク。 • BDAV形式で録画されているBD-R*1/REディスク
		MOVIE MUSIC PHOTO	• 映画、音楽、または写真ファイルが記録された BD-R*1/RE ディスク。 • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
DVD-ROM **DVD-R** **DVD-RW** **DVD+R** **DVD+RW** (8 cm / 12 cm ディスク)	DVD VIDEO DVD R DVD RW RW DVD+R RW DVD+ReWritable	DVD	• 市販ディスク • VRモードで記録され、ファイナライズされているDVD-R/RW • 動画モードおよび確定済み • ２層式再生対応
		AVCHD	AVCHD 規格でファイナライズされているディスク
		MOVIE MUSIC PHOTO	• 映画、音楽、または写真ファイルが記録された DVD±R/RW ディスク。 • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
DVD-RW (VR) (8 cm / 12 cm ディスク)	DVD RW	DVD	VRモードおよびファイナライズ済みのみ
Audio CD (8 cm / 12 cm ディスク)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	ACD	オーディオCD
CD-R/RW (8 cm / 12 cm ディスク)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable ReWritable	MOVIE MUSIC PHOTO	• 音楽タイトル、映画、音楽、または写真ファイルが記録された CD-R/RW ディスク。 • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
注記	–	!	特定の注意と操作の特徴を示します。
注意	–	⚠	乱暴な取り扱いによる故障を防ぐための注意を示します。

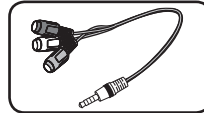
＊１LTHタイプも再生できます。

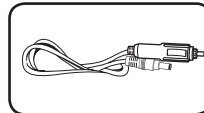
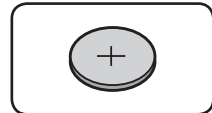
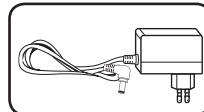
ご注意

- 各種のレコーダーやパソコンではメーカー別にさまざまな記録モードや記録方式があります。ディスクの状態によってはBD-R/RE、DVD-R/RW（VRモード）、CD-R/RWの再生が本機では出来ない場合があります。
- ソフトウェアの記録方法やファイナライズによっては、記録したディスク（CD-R/RW、DVD±R/RW、または BD-R/RE）が再生できない場合があります。
- パソコン、DVDレコーダー、CDレコーダーで記録した BD-R/RE、DVD±R/RW や CD-R/RW ディスクは、ディスクが破損または汚れていたり、本機のレンズに汚れや結露があると、再生できない場合があります。
- パソコンを使って記録したディスクは、ディスクを作成する際に使用したアプリケーションのソフトウェアの設定によって、共通フォーマットで記録されていても再生できない場合があります。（詳細についてはソフトウェアの発売元にお問い合わせください。）
- 高画質で再生するには、ディスクや記録方法が技術的な一定の基準を満たしている必要があります。
- あらかじめ収録されている DVD は、これらの基準が自動的に設定されています。記録可能なディスクのフォーマットには、多数の種類（MP3 や WMA のファイル名の拡張子が付いた CD-R など）がありますが、再生の互換性を保つために、これらには特定の決まった条件があります。
- インターネットから MP3/WMA ファイルや音楽をダウンロードするには許可が必要であることにご注意ください。当社にはそのような許可を与える権利はありません。常に著作権所有者の許可が必要です。
- 書き換え可能なディスクをフォーマットする際に当社製のプレーヤーと互換性のあるディスクを作成するには、ディスクフォーマットの項目を［マスタ］に設定する必要があります。項目が ライブシステム に設定されている場合は、当社製のプレーヤーでディスクを使用することはできません。(マスタ/ライブファイルシステム: Windows Vista でのディスクのフォーマット形式)

「⊘」 記号の表示について

操作中でのテレビ画面に、「⊘」が表示されたときは、この取扱説明書で説明されている機能が、その特定のメディアで利用できないことを示しています。

付属品

AV変換ケーブル(1)

リモコン(1)

シガー電源アダプター(1)

リモコン用リチウム電池(1)

ACアダプター(1)
(IM120WQ-200B)

- 実際のACアダプターはイラストとは異なる場合があります。

ファイルの互換性

動画ファイル

ファイル拡張子	Codec形式	Audio形式	字幕
「.avi」、「.mpg」、「.divx」、「.mpeg」、「.mkv」、「.mp4」、「.asf」	DIVX3.xx、DIVX4.xx、DIVX5.xx、DIVX6.xx (標準再生のみ)、XVID、MPEG1 SS、H.264/MPEG-4 AVC、MPEG2 PS、MPEG2 TS	Dolby Digital、DTS、MP3、WMA、AAC、AC3	SubRip (.srt / .txt)、SAMI (.smi)、SubStation Alpha (.ssa/.txt)、MicroDVD (.sub/.txt)、VobSub (.sub)、SubViewer 1.0 (.sub)、SubViewer 2.0 (.sub/.txt)、TMPlayer (.txt)、DVD Subtitle System (.txt)

音楽ファイル

ファイル拡張子	サンプリング周波数	ビットレート	ご注意
「.mp3」、「.wma」	11 - 48 kHz (MP3) の範囲内、32 - 48 kHz (WMA) の範囲内	8 - 320 kbps (MP3) の範囲内、32 - 192 kbps (WMA) の範囲内	WAV ファイルの中には、本機でサポートされないものもあります。

写真ファイル

ファイル拡張子	推奨サイズ	ご注意
「.jpg」、「.jpeg」、「.png」、「.gif」	4000 x 3000 ピクセル/ 24 ビット未満、3000 x 3000 ピクセル/ 32 ビット未満	プログレッシブと可逆圧縮（ロスレス圧縮）の写真ファイルには対応していません。

ご注意

- ファイル名は 180 文字に制限されています。
- 「 WMV 9 」コーデックでエンコードされた.aviファイルはサポートしていません。
- ファイルのサイズと数によっては、メディアのコンテンツの読み込みに数分かかる場合があります。
- 10ページに説明されている必須ファイルは、常に互換性があるわけではありません。ファイル機能によっては、一部制約がある場合があります。
- 画面に表示されているオーディオ ファイルの合計再生時間は、VBRファイルでは正しくない場合があります。
- CDまたはUSB1.0/1.1に含まれているHDムービー ファイルは、正しく再生されない場合があります。HDムービー ファイルを再生する場合は、Blu-rayディスク、DVD、またはUSB2.0をお勧めします。
- 本機は、最高レベル4.1で、H.264/MPEG-4 AVCのプロファイル メインをサポートしています。より高いレベルのファイルについては、警告メッセージが画面に表示されます。
- 本機は、GMC*1またはQpel*2で録画されるファイルをサポートしていません。

  *1 GMC – Global Motion Compensation

  *2 Qpel – Quarter pixel

ご注意

- 本機は、ユニコードのサブタイトルコンテンツが含まれているUTF-8ファイルにも対応しています。本機は純粋なユニコードのサブタイトルファイルには対応していません。
- ファイルのタイプまたは記録方法によっては、再生できない場合があります。
- 本機は、通常のPCでマルチセッションにより記録したディスクには対応していません。
- 動画ファイルを再生するには、動画ファイル名とサブタイトルファイル名を同じにする必要があります。
- 動画コーデックがMPEG2 TSまたはMPEG2 PSの場合、サブタイトルは再生されません。
- 画面に表示される VBR ファイルのトータル再生時間は正確でない場合があります。

AVCHD規格 (Advanced Video Codec High Definition)

- 本機は、AVCHD規格で記録されたディスクを再生できます。このディスクは通常ビデオカメラの録画に使用されます。
- AVCHD 規格は、ハイビジョンデジタルビデオカメラの記録方式です。
- MPEG-4 AVC/H.264 フォーマットは、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮率で画像を圧縮することができます。
- 「x.v.Color」規格を採用する AVCHD ディスクもあります。
- 本機は、「x.v.Color」規格を採用している AVCHD ディスクを再生できます。
- 記録状態によっては、再生できない AVCHD 規格のディスクもあります。
- AVCHD 規格のディスクは、ファイナライズする必要はありません。
- 「x.v.Color」は、通常の DVD ビデオカメラのディスクと比べ広い色域を提供できます。

必要なシステム環境

高解像度の映像を再生するには：

- HDMI入力ジャック付き高品位ディスプレイ
- 高解像度コンテンツを収録した BD-ROM ディスク
- コンテンツによっては、HDMI または HDCP 対応 DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要な場合があります（ディスク作成者により指定されています）。

ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD などのマルチチャンネルオーディオの再生には：

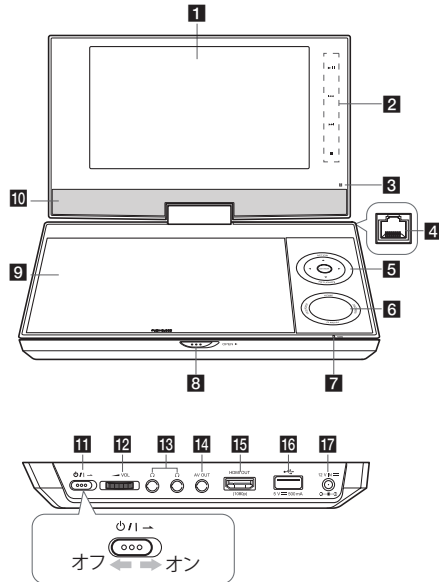
- アンプやレシーバに、デコーダー (ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS、DTS-HD) の搭載。
- 選択したオーディオフォーマットに対応するメインスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、およびサブウーファーが必要です。

互換性についての注意

- BD-ROM は新しい規格のため、特定のディスク、デジタル接続、およびその他の互換性などで問題が発生する可能性があります。互換性による問題が発生した場合は、当社カスタマーセンターにご連絡ください。
- BD-ROMによってサポートされている BONUSVIEW(BD-ROMバージョン2 プロファイル1バージョン1.1/ 最終標準プロファイル)を備えている本機を使用すると、画像内画像、副音声、バーチャルパッケージなどの機能を楽しむことができます。サブトラック映像や音声は、ピクチャー・イン・ピクチャー機能に対応しているディスクから再生することができます。再生方法については、ディスクの説明書を参照してください。
- 高解像度のコンテンツを観賞したり、標準の DVD コンテンツをアップコンバージョンするには、HDMI に対応した入力端子、または HDCP 対応の DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要です。
- BD-ROM や DVD ディスクには、操作や機能の使用を制限するものもあります。
- 本機の音声出力に HDMI 接続を使用すると、ドルビーTrueHD、ドルビーデジタルプラス、DTS-HD は、最大 7.1 チャンネルの音声出力に対応できます。
- USB デバイスを利用して、インターネットでダウンロードしたコンテンツのディスク関連の情報を保存することができます。この情報を保管する期間の管理を、ご使用のディスクで行うことができます。

リージョンコード

本機の背面には、リージョンコードが印刷されています。本機では、背面に印刷されたラベルと同じリージョンコード、またはリージョンコード「ALL」の BD-ROM、DVD ディスクのみ再生することができます。

本体

1 液晶画面

2 再生コントロールボタン (タッチ・センサー・ボタン)

- ▶II (Play/Pause): 押すと再生が始まります。もう一度押すと、一時停止します。さらに、もう一度押すと一時停止モードが解除されます。
- I◀◀ / ▶▶I (Skip): 次または前のチャプター/トラック/ファイルに移動します。
- ■ (Stop): 押すと再生が停止します。

3 リモコン受光部: リモコンはここに向けて操作します。リモコンで本機を操作する場合は、液晶パネルを伏せないでください。

4 LANポート: LANポートに接続すると、ネットワーク機能が利用できます。

5 メニュー・コントロール・ボタン

- **▲/▼/◀/▶:** メニュー内から項目を選択する場合に使います。
- **ENTER:** 選択したメニューを確定する場合に押します。
- **OPTION:** 液晶画面の輝度やカラー・メニューを表示する場合に押します。液晶画面のカラーや輝度を調整する場合は、本体のOPTIONを繰り返し押して、Brightness(輝度)やColorメニューを表示させ、さらに◀/▶でそれらの値を調整します。決定 (⦿)を押すとその調整値が確定します。
- **RETURN (↶):** メニュー画面を消去し、再生に戻ります。BD-ROMディスクによっては、再生モードに戻らない場合があります。

6 ファンクション・ボタン

- **HOME:** [ホームメニュー]の表示と消去を行います。
- **TITLE/POPUP:** DVDタイトル・メニューやBD-ROMのポップアップ・メニューが入力されている場合に表示します。
- **DISC MENU:** ディスクのメニューにアクセスします。
- **Q.MENU (☐):** クイックメニューの表示と消去を行います。

7 バッテリー充電とパワー・インジケータ

- インジケータは充電中赤点灯し、充電が終了すると緑に変わります(詳細は15ページを参照してください)。
- 本機に電源を入れると、インジケータがしばらくの間緑に点灯します。

8 OPEN ▶: このスライド式オープン・キーでディスクトレイカバーを開きます。

9 ディスクトレイカバー

10 スピーカー

11 ⏻/I (電源): 本機の電源のオン/オフを切り替えます。

12 ◢ VOL (音量): 内蔵スピーカーおよびヘッドホンの音量を調整します。

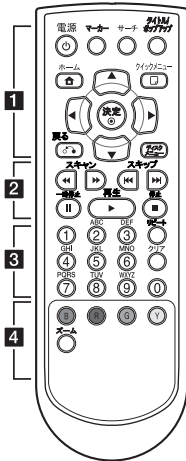
13 🎧 (ヘッドホン): ヘッドホンはここに接続します。

14 AV OUT: ビデオおよびオーディオ信号を出力します。テレビに接続します。

15 HDMI OUT (タイプA): HDMI出力です。HDMI入力対応のテレビに接続します。

16 USBポート: USBフラッシュ・ドライブを接続します。

17 DC 12V IN: ACアダプターまたはシガー電源アダプターを接続します。

リモコン

• • • • • • • 1 • • • • • •

⏻ **(電源):** 本機の電源をオン/オフします。

マーカー: 再生中のお好きな場所にマークを付けます。

サーチ: 検索メニューを表示/終了します。

タイトル/ポップアップ: DVD のタイトルメニューや BD-ROM にポップアップメニューがある場合は表示します。

ホーム (🏠): [ホームメニュー] を表示/終了します。

クイックメニュー (□): Quick Menuの表示と消去を行います。

矢印ボタン: メニューの項目を選択します。

決定 (⦿): 選択したメニューを決定します。

戻る (↶): 選択したセクションやシーケンスを繰り返し再生します。

ディスクメニュー: ディスクのメニューを表示します。

• • • • • • • 2 • • • • • •

巻戻し/早送り (◀◀ / ▶▶): 早送り/早戻しをします。

スキップ (I◀◀ / ▶▶I): 前や次のチャプター/トラック/ファイルに進みます。

一時停止 (II): 再生を一時停止します。繰り返し押すと、コマ送りの再生になります。

再生 (▶): 再生を開始します。

停止 (■): 再生を停止します 。

• • • • • • • 3 • • • • • •

0〜9 番号ボタン: メニューの項目番号を選択するか、キーパッドメニューの文字を入力してください。

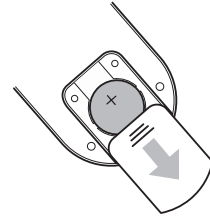
リピート: 選択したセクションやシーケンスを繰り返し再生します。

クリア: 検索メニューのマークや設定したパスワードの番号を解除します。

• • • • • • • 4 • • • • • •

カラー (B, R, G, Y) ボタン: BD-ROM メニューの操作に使用します。
[ムービー]、[写真]、[音楽]、[NetCast] メニューの操作にも使用します。

ズーム: [ズーム] メニューを表示/終了します。

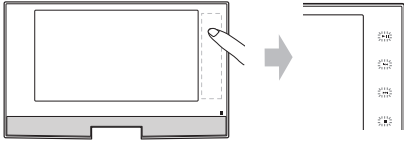
電池を入れるには

リモコン背面の電池カバーを取りはずし、電池ケースの+と電池の+が同じになるようにして取り付けます。

- リモコンの交換用電池は、CR. 2025 またはその同等品などの3Vマイクロ・リチウム電池です。
- 電池は、お住まいの地域の法規に従って処分してください。火中に投じないでください。

⚠ ご注意

このデバイスで使用されている電池の扱いを誤ると、火災が発生したり、化学火傷を負ったりする可能性があります。充電、分解、焼却や、100 °C 超の熱にさらすことは避けてください。
指定以外の電池を使用すると、火災発生や破裂の恐れがあります。電池はお子様の手の届かないところに置いてください。分解したり、火中に投じて処分することは避けてください。

タッチ・センサー・ボタンを使う

タッチ・センサー・ボタンを使用する場合は、下に示した液晶パネルの右側に触れてください。

 ご注意

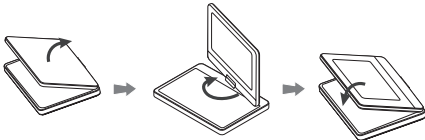
タッチ・センサー・ボタンを使用する場合のご注意:

- タッチ・パッドには、きれいな乾いた手で触れてください。
- タッチ・パッドのボタンに強い力を加えないようにしてください。
- タッチ・パッドのボタンには、金属などの伝導体を触れさせないようにしてください。故障の原因となる場合があります。

ヒント

タッチ・センサー・ボタンは、数秒間触れないでいると消えます。

液晶パネルの回転方法

本機の液晶パネルは、時計回りに最大180度回転させて使用することができます。液晶パネルを180度回転させてから、後に倒して本機を操作することもできます。

液晶パネルを回転させるには、本機をテーブルなどの安定した平面に置きます。液晶パネルを押し上げ、垂直状態にし、時計回りにゆっくりと180度回転させます。回転させた後は、液晶を折りたたんでもかまいません。

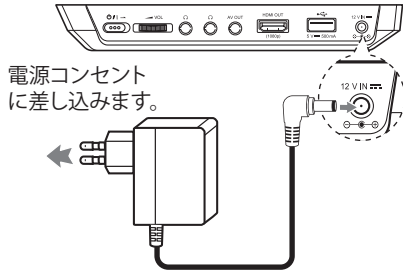
液晶パネルを元の位置に戻すには、液晶パネルを起こして垂直状態にしたのち、反時計回りにゆっくりと180度回転させます。

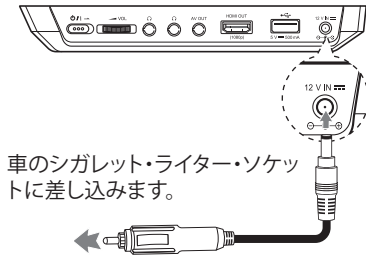
- 本機を使い終わった後は、液晶パネルを元の位置に戻してください。
- 液晶パネルを上向きにしたまま放置しないでください。急激なショックが加わったときに破損する恐れがあります。

バッテリーで使う

- 内蔵のバッテリーにより、電源コードなしで、お好きな場所で映像を楽しむことが出来ます。内蔵バッテリーを使う前に充電してください。
- ACアダプタまたはシガー電源アダプターをコンセントまたはシガレットライターソケットに接続すると、内蔵の充電池への充電が始まります。
- バッテリー充電時間:
  - 電源オフモード時約4時間。
  - 電源オンモード時約14時間。
- 内蔵バッテリーを使用した場合の動作時間は、通常約2時間30分ほどですが、バッテリーの状態、動作状態、および周囲の条件によって変わります。最長再生時間は、3時間ほどになる場合もあります。
- 内蔵バッテリーの残り時間が数分になると、「⚠ バッテリーをチェック」という表示が画面に点滅します。

ACアダプターで使う

付属のACアダプターで本機を電源に接続します。

シガー電源アダプターで使う

付属のシガー電源アダプターで本機をシガレット・ライター・ソケットに接続します。

テレビへの接続

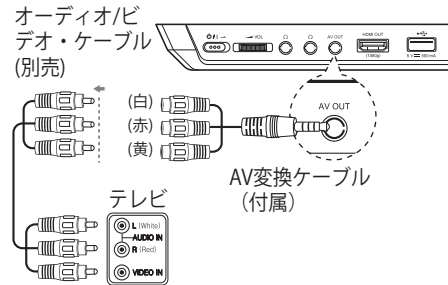
お持ちのテレビの端子や機能に応じて、次のいずれかの接続を行ってください。

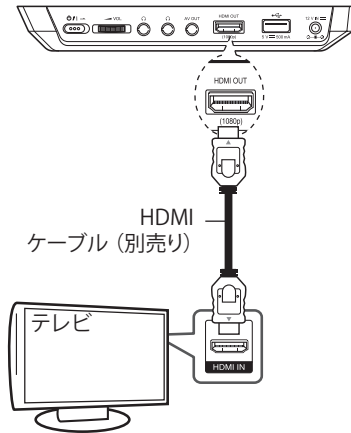
- ビデオ接続 (16ページ)
- HDMI接続 (17ページ)

ご注意

- テレビなどの接続先によっては、プレイヤーの接続方法が複数ある場合があります。本マニュアルで説明しているいずれか一つの方法で接続してください。
- お手持ちのテレビやステレオ・システムなどの機器と最適な接続をするには、それらの取扱説明書を参照してください。
- 本機ののAV OUTジャックとお手持ちのオーディオ・システムのphono in(レコード・プレイヤー 入力)とを接続しないでください。
- 本機をビデオデッキ経由で接続しないでください。コピー保護システムにより画像が歪む可能性があります。

オーディオ/ビデオ・ケーブルの接続

付属のAV変換ケーブルで、本機のAV OUTとテレビに接続してあるAVケーブルを接続します。

HDMI の接続

HDMI 入力端子のあるテレビやモニターをお持ちの場合は、市販の HDMI ケーブル(タイプA、HDMI™ ケーブル). を使用して本機に接続することができます。本機の HDMI 端子を、HDMI 対応のテレビやモニターの HDMI 端子 に接続します。

テレビの入力切換を HDMI に設定します（テレビの取扱説明書を参照してください）。

HDMI 接続でのご注意

- HDMI や DVI 対応の機器に接続する場合は、以下のことを確認してください。
  - まず本機と HDMI/DVI 機器の電源を切ります。次に、HDMI/DVI 機器の電源を入れ、30 秒ほど待ってから本機の電源を入れます。
  - 接続した機器の映像入力が、正しく本機に設定されているか確認します。
  - 接続する機器は、720x480p、1280x720p、1920x1080i、1920x1080p の解像度の映像入力に対応している必要があります。
- HDCP 対応の HDMI や DVI 機器のすべてが本機に対応しているわけではありません。
  - HDCP 対応機器以外では、画像が正しく表示されない場合があります。
  - テレビの画面は、本機の再生画面ではなく黒い画面に変わります。

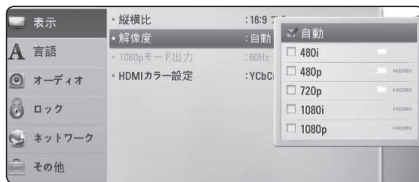
ご注意

- HDMI接続の場合、液晶パネルに画像は表示されません。
- 接続した HDMI 機器が本機のオーディオ出力に対応していない場合、HDMI 機器のオーディオ出力が乱れるか出力されません。
- HDMI 接続の場合、HDMI 出力の解像度を切り換えることができます。(18ページの「解像度の設定」を参照してください)。
- [設定] メニューの [HDMIカラー設定] 項目で、映像出力タイプを HDMI 出力 端子から選択します (25 ページ参照)。
- 接続がすでに確立されている状態で解像度の切り換えを行うと故障の原因になる場合があります。問題を解決するには、本機の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
- HDCP での HDMI 接続に対応していない場合は、テレビ画面は黒画面に変わります。この場合は、HDMI 接続の確認をするか、HDMI ケーブルをはずしてください。
- 画面にノイズやラインなどの乱れがある場合は、HDMI ケーブルを確認してください（通常の長さは4.5 メートル以下に制限されています）。

2 接続

解像度の設定

本機ではHDMI OUTおよび液晶パネル向けに出力解像度が選択できます。解像度を変更するには、[設定]メニューを使用します。

1. ホーム (⌂) を押します。
2. ◀/▶ で［設定］を選択して 決定(◉) を押します。［設定］メニューが表示されます。
3. ▲/▼ で [表示] の項目を選択してから、▶ を押して第 2 階層へと移動します。
4. ▲/▼ で [解像度] の項目を選択してから、決定(◉) を押して第 3 階層へと移動します。

5. ▲/▼ で希望する解像度を選択してから、決定(◉) を押して設定を終了します。
   - HDMI OUT: 自動、480p、720p、1080i、1080p
   - 液晶パネル: 480i、480p、720p

ご注意

- お持ちのテレビが本機で設定した解像度に対応しない場合は、以下の方法で 480p 解像度に設定することができます。
  1. 装置からディスクを削除。
  2. 5 秒以上 ■ (停止) を押します。
- HDMI 接続で解像度を 480i にしている場合の実際の出力解像度は、480p となります。
- 液晶パネルの解像度を[Auto]、[1080i]、[1080p]のいずれかに設定した場合、実際の出力解像度は720pとなります。
- 解像度をご自身で選択してテレビの HDMI 端子に接続しても、お持ちのテレビがその接続に対応しない場合は、解像度の設定は [自動] に設定されます。
- お使いのテレビが対応していない解像度を選択すると、警告メッセージが表示されます。解像度を変更しても画面が映らない場合は、20 秒ほどお待ちいただくと解像度は自動的に前に設定していた解像度に戻ります。
- 1080p の映像信号でのビデオ出力フレームレートは、接続されているテレビの仕様と優先設定、または BD-ROM ディスクに収録されたコンテンツの映像信号のフレームレートによって、24 Hz と 60 Hz のどちらかが自動的に設定される場合があります。
- AV OUTジャックの出力解像度は常に 480iとなります。

アンプなどとの接続

お持ちの機器の対応を確認し、以下の接続方法から一つだけ行ってください。

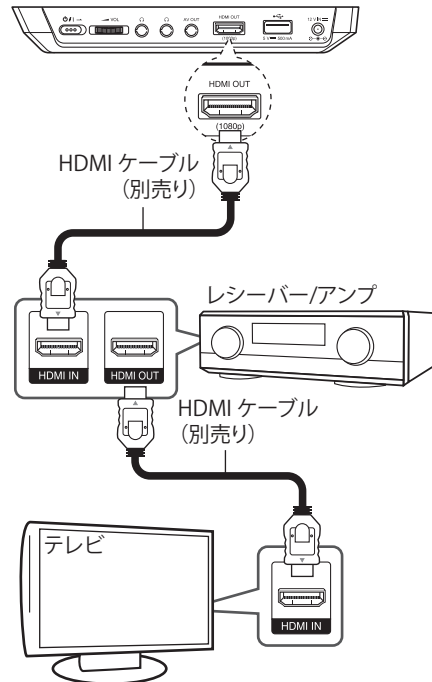
- HDMI オーディオの接続 (19 ページ)
- 2CH アナログ音声の接続 (20 ページ)

オーディオ出力にはさまざまなフォーマットがあります。詳しくは「オーディオ出力の仕様」を参照してください (50 ページ)。

デジタルマルチチャンネルサウンドについて

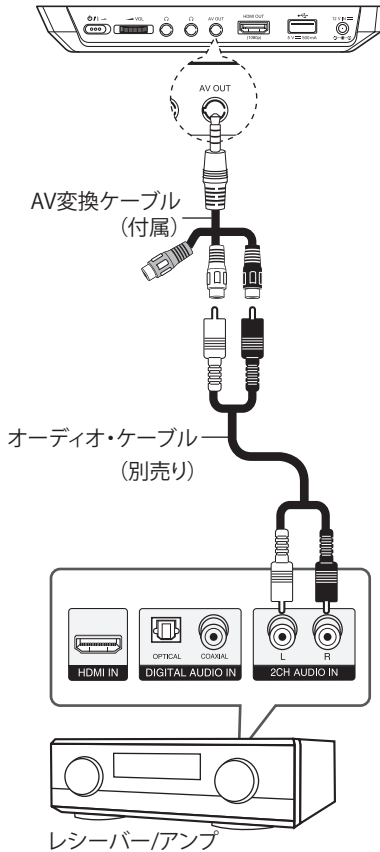
デジタルマルチチャンネルによる接続で、最高の音質でのサウンドをお楽しみいただけます。そのためには、本機が対応するオーディオフォーマットのうちの一つ以上に対応しているマルチチャンネル オーディオ/ビデオレシーバーが必要です。レシーバーの取扱説明書とレシーバー前面にあるロゴをご確認ください (PCM ステレオ、PCM マルチチャンネル、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HD)。

HDMI 出力とアンプとを接続する

HDMI ケーブルを使用して、本機の HDMI 出力端子と、お持ちのアンプの対応する端子とを接続してください。

お持ちのアンプに HDMI 出力端子が搭載されている場合は、HDMI ケーブルを使用して、アンプの HDMI 出力端子をテレビの HDMI 入力端子に接続してください。

また本機のデジタル音声出力の設定をする必要があります（26ページの「[オーディオ] メニュー」を参照してください）。

アナログ音声出力端子とアンプとを接続する

オーディオケーブル使用して、本機の音声出力端子の左と右を、お持ちのアンプ、レシーバー、またはステレオシステムの音声入力端子の左と右に接続します。

ホームネットワークに接続する

このプレーヤーは、背面パネル上のLANポートを経由して、ローカル エリア ネットワーク(LAN)に接続することができます。
この装置をブロードバンドのホーム ネットワークに接続することにより、ソフトウェアの更新やBD-Liveインタラクティブ、オンライン サービスなど、各種サービスにアクセスすることができます。

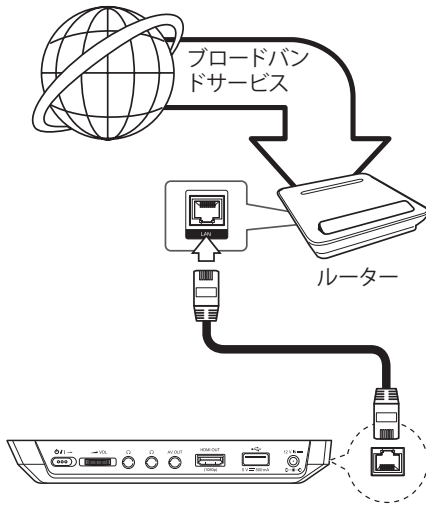
有線ネットワークの接続

有線ネットワーク接続を使用すると、付属装置が直接ネットワークに接続されるため、無線周波数の妨害を受けることがなく、最高の性能を得ることができます。

詳細については、ネットワーク装置の取扱説明書を参照してください。

本機 LANポートを、市販のLANケーブルまたはイーサネット ケーブルを使用して、モデムまたはルーターの対応するポートに接続します。

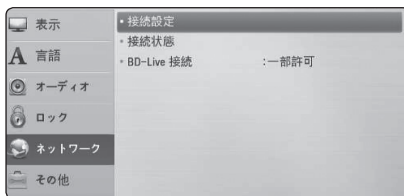
ご注意

- LANケーブルを抜き差しするときには、ケーブルのプラグの部分を持ってください。LANケーブルを抜くときには、ケーブルを引かずに、ロックを押しながら抜きます。
- 電話用のモジュラー ケーブルをLANポートに接続しないでください。
- 接続の設定にはさまざまな方法があるため、電話会社やインターネット サービスプロバイダの仕様に従ってください。

有線ネットワークの設定

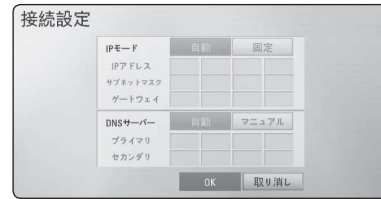
DHCP サーバが有線接続のローカルエリアネットワーク（LAN）上にある場合は本機には自動的に IP アドレスが割り当てられます。実際に接続した後に、本機のネットワーク設定を調整する必要のあるホームネットワークもなかにはあります。以下のような手順で［ネットワーク］設定を行なってください。

準備

有線ネットワークを設定する前に、ブロードバンド回線のインターネットをホームネットワークに接続してください。

1. [設定] メニューから [接続設定] オプションを選択して、決定 (⦿) を押してください。

2. [はい] を選択し決定 (⦿) を押して続行します。現時点のネットワーク設定が、新たな接続設定に変更されます。

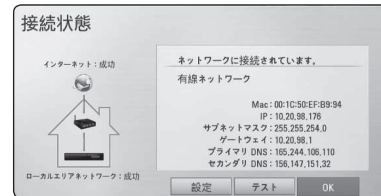
3. ▲/▼/◀/▶ で［自動］と［固定］どちらかの IP モードを選択します。

   通常は、［自動］を選択して IP アドレスを自動的に設定します。

ご注意

ネットワークに DHCP サーバがなく、手動で IP アドレスを設定する場合は、▲/▼/◀/▶ ボタンと数字ボタンを使用して [固定] を選択してから、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]、[DNSサーバー] を設定します。数字を入力する際に入力を間違えた場合は、クリアを押してハイライトされた部分を解除してください。

4. [OK］を選択してから決定(⦿) を押してネットワークを設定します。

5. 本機より、ネットワーク接続のテストを行うよう勧めます。[OK］を選択してから決定(⦿) を押してネットワークの接続を完了します。

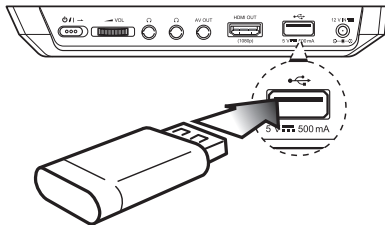
6. 上記のステップ 5 で［テスト］を選択してから 決定 (⦿) を押すと、ネットワークの接続状態が画面に表示されます。
   [設定］メニューの［接続状態］を選択することでもテストを行うことができます。

ネットワーク接続についての注意：

- ネットワークに起因する問題は、多くの場合がルーターやモデムをリセットすることで解決できます。本機をホームネットワークに接続した後に、ホームネットワークのルーターまたはケーブルモデムの電源を切り、電源ケーブルを外してください。
  それから再度、電源ケーブルを差し、電源を入れ直してください。
- インターネットサービスプロバイダ（ISP）によっては、サービス条件が決められており、インターネットサービスに接続できる機器の数が限られている場合があります。詳細については、お使いの ISP にお問い合わせください。
- 弊社は、お客様がご利用されているブロードバンド回線での接続、またはその他接続機器から起こるコミュニケーションエラーや故障が原因での、本機やインターネット接続での機能不能、またはその両方についての一切の責任を負いません。
- 弊社では、インターネット接続機能からご利用できる BD-ROM ディスク機能の作成や提供は行っておりません。また、それらの機能や将来の利用性などについての責任も負いません。インターネット接続でご利用可能なディスク関連のマテリアルの中には、本機と互換性のないものもあります。このようなコンテンツについてのご質問は、ディスクの製造メーカーにお問い合わせください。
- インターネットのコンテンツには、広帯域幅の接続が必要なものもあります。
- 正しく接続と設定がされていても、インターネットのコンテンツの中には、ご利用のインターネットサービスの回線の渋滞、質、帯域幅など、コンテンツのプロバイダー側の問題などが理由で正常に作動しない場合があります。
- ご利用のブロードバンド回線の接続を提供しているインターネットサービスプロバイダ（ISP）で設定された制限により、インターネット接続の操作が正しくできない場合もあります。
- 接続料やその他 ISP より請求される手数料は、すべてお客様のご負担となります。
- 10BASE-T または100BASE-TX での LAN ポートの無線接続が本機には必要です。ご利用のインターネットサービスがこのような接続に対応していない場合は、本機との接続はできません。
- xDSL サービスをご利用になるには、ルーターが必要です。
- DSL サービスをご利用になるには DSL モデムが必要です。またケーブルモデムサービスをご利用になるにはケーブルモデムが必要です。ご利用の ISP のアクセス方法と契約内容によっては、本機に搭載されているインターネット接続の機能をご利用できなかったり、同時に接続できる機器の数が制限されている可能性もあります。(ご利用の ISP の契約が 1 台のみの接続に制限されている場合は、パソコンの接続中に本機を接続できない可能性があります）。
- ご利用の ISP の規制や制限によっては「ルーター」を使用できない、またはルーターの使用が制限されている可能性があります。詳細については、ご利用の ISP に直接お問い合わせください。

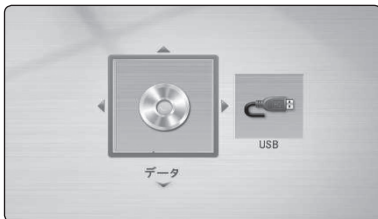
USB デバイスの接続

本機では、USB デバイスに記録された映画、音楽、および写真ファイルを再生できます。

USB デバイスのコンテンツの再生

1. USB デバイスを USB ポートにしっかり奥まで差し込みます。

USB デバイスを ホーム メニューから接続設定すると、本機は USB ストレージデバイスに記録された音楽ファイルを自動的に再生します。USB ストレージデバイスにいろいろな種類のファイルが記録されている場合は、ファイルの種類を選択するメニューが表示されます。

USB ストレージデバイスに保存されたコンテンツの数によっては、ファイルの読み込みに数分かかることがあります。読み込みを停止するには、[取り消し] を選択し、決定 (⦿) を押してください。

2. ホーム (🏠) を押します。
3. ◀/▶ で [ムービー]、[写真]、または [音楽] 項目を選択してから、決定 (⦿) を押します。
4. ◀/▶ で [USB] 項目を選択してから、決定 (⦿) を押します。

5. ▲/▼/◀/▶ でファイルを選択してから、再生 (▶) または決定 (⦿) を押してファイルを再生します。
6. 注意しながら、USB デバイスを取り外します。

ご注意

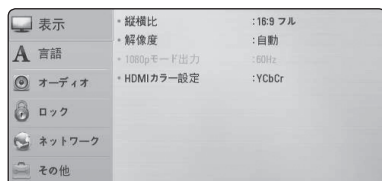
- 音楽、写真、映画ファイルにアクセスする場合、本機は FAT16、FAT32、および NTFS 形式のUSB フラッシュメモリーまたは外付けハードディスクに対応します。
  BD-Live やオーディオ CD の記録を行う場合は、FAT16 と FAT32 形式のみに対応します。BD-Live やオーディオ CD の記録を行う場合は、FAT16、FAT32 どちらかの形式にフォーマットされた USB フラッシュメモリーまたは外付けのハードディスクを使用してください。
- USB デバイスは、インターネットで BD-Live のディスクを楽しむためのローカル記憶領域に使用することができます。
- 本機で対応できる USB デバイスのパーティションの数は、最大 4 つまでです。
- 再生などの操作中は USB デバイスを取り外さないでください。
- パソコンに接続すると追加プログラムのインストールが必要となる USB デバイスには対応していません。
- USB デバイス :USB1.1 および USB2.0 のものに対応しています。
- 映画、音楽、および写真ファイルを再生できます。各ファイルの操作についての詳細は、それぞれの関連ページを参照してください。
- データの損失を避けるために、定期的なバックアップをお勧めします。
- USB 延長ケーブル、USB ハブ、または USB Multi-reader を使用すると、USB デバイスが認識されない可能性があります。
- 本機では動作しない USB デバイスもあります。
- デジタルカメラや携帯電話はサポートされていません。
- 本機の USB ポートとパソコンは接続できません。本機をストレージデバイスとして使用することはできません。

設定

セットアップの設定

[設定] メニューで本機の設定を変更することができます。

1. ホーム ( ) を押します。

2. ◀/▶ で［設定］を選択して 決定(⦿)を押します。［設定］メニューが表示されます。

3. ▲/▼ で 最初の設定項目を選択してから、▶ を押して第 2 階層へと移動します。

4. ▲/▼ で 第 2 階層の設定項目を選択してから、決定(⦿) を押して第 3 階層へと移動します。

5. ▲/▼ で希望する設定を選択してから、決定 (⦿) を押して設定を終了します。

[表示] メニュー

縦横比

お持ちのテレビのタイプに対応する、テレビの縦横比項目を選択してください。

[4:3レターボックス]

4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、上下に黒帯が付いた状態で映像を表示します。

[4:3パンスキャン]

4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、テレビ画面に映像が収まるように映像の両側が切り落とされて表示されます。

[縦横比(16:9)]

16:9 のアスペクト比であるワイドテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像では左右の両側に黒帯が付いた状態で、オリジナルの 4:3 アスペクト比で表示されます。

[16:9 フル]

16:9 のアスペクト比であるワイドテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像は、テレビ画面の全体に合わせるために水平方向（左右）に引き伸ばされます。

! ご注意

解像度が 720p 以上に設定されている場合は、[4:3レターボックス] と [4:3パンスキャン] の項目は選択できません。

解像度

HDMI の映像信号の出力解像度を設定します。解像度設定についての詳細は、18 ページを参照してください。

[自動]

HDMI 出力端子が、ディスプレイの基本情報を提供するテレビ（EDID）に接続されていると、接続されているテレビに最適な解像度を自動的に選択します。

[1080p]

1080 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

[1080i]

1080 本のインターレース（飛び越し走査）映像出力です。

[720p]

720 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

[480p]

480 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

[480i]

480 本のインターレース（飛び越し走査）映像出力です。

1080pモード出力

解像度を 1080p に設定した場合、1080p/24 Hz 入力に対応した HDMI 端子のあるディスプレイで映画のフィルム映像（1080p/24 Hz）をスムーズに表示するには、[24 Hz] を選択します。

! ご注意

- [24 Hz] を選択した場合、ビデオと映画で映像を切り換えると、画像が乱れる場合があります。その場合は [60 Hz] を選択してください。
- [1080pモード出力] が [24 Hz] に設定されていても、お持ちのテレビが 1080p/24 Hz に対応していない場合は、ビデオ出力の実際のフレーム周波数は、ビデオのソースフォーマットに合うように 60 Hz に変更されます。

HDMIカラー設定

HDMI 出力 端子からの出力の種類を選択してください。この設定については、お持ちのディスプレイ機器の取扱説明書を参照してください。

[YCbCr]

HDMI 対応のディスプレイ機器への接続時に選択します。

[RGB]

DVI ディスプレイ機器への接続時に選択します。

[言語] メニュー

表示メニュー言語

[設定] メニューとオンスクリーン ディスプレイの言語を選択します

ディスクメニュー言語/ディスク音声言語/ディスク字幕言語

オーディオ トラック（ディスク オーディオ）、字幕、そしてディスク メニューで表示したい言語を選択します。

[オリジナル]

ディスクが収録された時に使用された言語を参照します。

[その他]

決定 (◉) を押して別の言語を選択します。48ページに記載された言語コードから表示したい言語の 4 桁数字を数字ボタンを使って入力し、決定 (◉) を押してください。

[オフ]（ディスク サブタイトルのみ）

字幕を消します

ディスクによっては、言語設定が動作しない場合があります。

3 システム設定

[オーディオ] メニュー

各ディスクで、いろいろなオーディオ出力の選択ができます。お持ちのオーディオシステムの種類に応じて、本機のオーディオ項目を設定してください。

ご注意

オーディオ出力にはさまざまなフォーマットがあります。詳しくは 50 ページの「オーディオ出力の仕様」を参照してください。

HDMI

[PCM ステレオ]

2チャンネル・デジタル・ステレオ・デコーダー付きの機器を本機のHDMI OUTジャックに接続する場合に選択します。

[PCM Multi-Ch]

2チャンネル・デジタル・ステレオ・デコーダー付きの機器を本機のHDMI OUTジャックに接続する場合に選択します。

[DTS再エンコード]

DTSデコーダー付きの機器を本機のHDMI OUTジャックに接続する場合に選択します。

[プライマリパススルー]

LPCM、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS、DTS-HDデコーダー付きの機器を本機のHDMI OUTジャックに接続する場合に選択します。

ご注意

- [HDMI]オプションを[PCM Multi-Ch]に設定した場合、PCM Multi-Ch情報がEDID付きのHDMI機器から検出されないときは、オーディオがPCMステレオで出力されている可能性があります。
- [HDMI]オプションを[DTS再エンコード]に設定すると、BD-ROMディスクのDTS再エンコード・オーディオと、その他のディスクのオリジナルのオーディオが([プライマリパススルー]のときと同様に)出力されます。

サンプリング周波数（デジタル音声出力）

[192 kHz]

お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz 周波数に対応可能な場合に選択します。

[96 kHz]

お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz 周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択するとお持ちのシステムがデコードできるように、すべての 192 kHz 周波数を 96 kHz に自動変換します。

[48 kHz]

お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz、96 kHz の周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択すると、お持ちのシステムがデコードできるように、すべての 192 kHz、96 kHz の周波数を 48 kHz に自動変換します。

お持ちの AV レシーバーまたはアンプの取扱説明書をご覧になり、対応可能な仕様かをご確認ください。

DRC (ダイナミックレンジコントロール)

この機能によって、クリアな音声を損なうことなく、小音量で動画をお楽しみいただけます。

[オフ]

この機能がオフになります。

[オン]

ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、またはドルビーTrueHDのダイナミックレンジが圧縮されます。

[オート]

ドルビーTrueHDオーディオ出力のダイナミックレンジが自動的に指定されます。
また、ドルビーデジタルとルビーデジタルプラスのダイナミックレンジは、[オン]モードの場合と同様に選択されます。

ご注意

DRC設定は、ディスクを挿入していないとき、またはユニットを完全に停止モードにしているときにのみ変更することができます。

3 システム設定

DTS Neo:6

本機をHDMI接続によってマルチチャンネルのオーディオレシーバーに接続している場合には、この機能を設定すると、2チャンネルのオーディオソースをマルチチャンネルサラウンドサウンドでお楽しみいただけます。

[オフ]

フロントスピーカーからのステレオサウンドで出力します。

[ミュージック]

音楽鑑賞に最適化されたマルチチャンネルサウンドで出力します。

[シネマ]

映画鑑賞に最適化されたマルチチャンネルサウンドで出力します。

ご注意

- この機能は、オンラインサービスでは利用できません。
- この機能では、48 kHz未満のサンプリング周波数のオーディオソースのみご利用頂けます。
- この機能は、[HDMI]オプションが[PCMマルチチャンネル]に設定されているときのみご利用頂けます。

[ロック] メニュー

[ロック]設定は、Blu-rayディスクおよびDVDの再生の場合のみ有効です。

[ロック] 設定の機能を変更するには、お客様があらかじめ設定した 4桁の暗証番号を入力します。パスワードを入力していない場合は、最初に設定します。4 桁のパスワードを 2 回入力してから　決定 (⦿) を押して新しいパスワードを作成します。

パスワード

パスワードは、作成または変更できます。

[なし]

4 桁のパスワードを 2 回入力してから 決定 (⦿) を押して新しいパスワードを作成します。

[変更]

設定されているパスワードを入力して決定 (⦿) を押します。4 桁のパスワードを 2 回入力してから　決定 (⦿) を押して新しいパスワードを作成します。

パスワードを忘れてしまった場合

ご自分のパスワードを忘れた場合は、次のステップでパスワードを解除することができます。

1. 本機にディスクが入っている場合は取り出します。
2. [設定] メニューから [パスワード] の項目を選択します。
3. 数字ボタンで「210499」と入力します。パスワードが解除されます。

ご注意

決定 (⦿) を押す前に入力を間違った場合は、クリア を押してください。その後、正しいパスワードを入力します。

DVD視聴制限レベル

ディスクのコンテンツにより年齢制限が設定されている DVD の再生をブロックします。(すべてのディスクに制限が付けられているわけではありません)。

[ランク 1-8]

レーティング 1 は最も制限が厳しく、レーティング8 は最も制限が軽くなります。

[ロック解除]

[ロック解除] を選択すると、視聴制限は動作せず、すべてのディスクが再生されます。

3

システム設定

Blu-ray ディスク視聴制限レベル

BD-ROM 再生の年齢制限を設定します。数字ボタンで BD-ROM を鑑賞できる年齢制限を入力します。

[255 年齢]

すべての BD-ROM を再生できます。

[0-254 年齢]

BD-ROM に記録された年齢制限によって BD-ROM の再生を禁止します。

! ご注意

[Blu-ray ディスク視聴制限レベル]が適用されるのは、Blu-rayディスクに高度レーティングコントロールが組み込まれている場合に限られます。

エリアコード

48 ページのリストを基に、DVD ビデオディスクの年齢制限を指定する基準の地域コードを入力してください。

[ネットワーク] メニュー

[ネットワーク] の設定は、ソフトウェアの更新や、BD-Live、NetCast といった機能を利用するのに必要な設定です。

接続設定

ホームネットワーク環境が本プレーヤーにすぐに接続できる場合には、ネットワーク通信ができるようにプレーヤーのネットワーク接続を設定する必要があります。(20 ページの「ホームネットワークに接続する」を参照)。

接続状態

本機でネットワーク状態を確認する場合は、［接続状態］ 項目を選択してから 決定 () を押し、ネットワークとインターネットの接続が確立されているかどうか確認してください。

BD-Live接続

BD-Live 機能を使用する場合は、インターネットへのアクセスを制限することができます。

[許可]

すべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスを許可します。

[一部許可]

所有者証明書のある BD-Live コンテンツのみインターネットアクセスを許可します。証明書のないすべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスと AACS オンライン機能は禁止されます。

[禁止]

すべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスを禁止します。

[その他] メニュー

DivX® VOD

DIVX ビデオについて :DivX® は DivX, Inc. のデジタルビデオ圧縮技術です。本機はDivX ビデオ再生用の DivX Certified® 製品です。詳しい情報、およびファイルを DivX 形式のビデオにを変換するソフトウェアツールについては、www.divx.com をご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて：このDivX Certified®デバイスは、購入したDivXビデオオンデマンド (VOD) の内容を再生するための登録が必要です。登録コードを取得するには、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションを参照してください。登録方法の詳細については、vod.divx.comにアクセスしてください。

[登録]

本機の登録コードを表示します。

[登録削除]

本機の使用をやめるときに、コードを無効にします。

! ご注意

本機の登録コードを使用して DivX VOD からダウンロードしたすべてのビデオは、本機で再生のみを行うことができます。

オートパワーオフ

プレイヤーを停止モードのまま約5分放置しておくと、スクリーン・セーバーが表示されます。このオプションを[オン]に設定すると、スクリーン・セーバーが5分表示されたのち、本機が自動的にオフになります。
このオプションを[オフ]に設定すると、ユーザーが本機を操作しない限り、スクリーン・セーバーが表示されたままとなります。

初期化

[初期設定]

本機を工場出荷時の設定にリセットすることができます。

[Blu-rayストレージ消去]

接続したUSBストレージのBDライブコンテンツを初期化します。

 ご注意

[初期設定]オプションを使用して本機の工場出荷時の設定をリセットした場合は、オンライン サービスおよびネットワーク設定をすべて再度有効にする必要があります。

ソフトウェア

[情報]

ソフトウェアの現在のバージョンを表示します。

[更新]

本機をソフトウェア更新サーバに直接接続することで、ソフトウェアの更新ができます(45 ページ参照)。

免責事項について

決定 (⦿) を押して、53 ページに記載している ネットワークサービスの免責事項 についてご覧ください。

一般的な再生

[HOME]（ホーム）メニューの使用

ホーム (🏠)を押すと、ホーム メニューが表示されます。◀/▶ を使用してカテゴリーを選択し、決定 (⦿) を押します。

1	**[ムービー] -** ビデオ コンテンツを再生します。
2	**[写真] -** 写真コンテンツを再生します。
3	**[音楽] -** 音楽コンテンツを再生します。
4	**[NetCast] -** NetCastホームにアクセスします。
5	**[設定] -** システム設定を調整します。

ディスクを再生する

BD **DVD** **ACD**

1. 電源スイッチをオンにします。
2. ディスクのふたを開け、ディスクを挿入します。
3. ディスクのふたを閉じます。

   ほとんどのオーディオ CD、BD-ROM、および DVD-ROM ディスクの再生を自動的に開始します。
4. ホーム (🏠) を押します。
5. ◀/▶ ボタンで [ムービー]、 [写真]、または [音楽] 項目を選択してから、決定 (⦿) を押します。
6. ◀/▶ を使用して[Blu-ray ディスク]、[DVD]、[VR]、または [オーディオ] オプションを選択し、決定 (⦿)を押します。

ご注意

- この取扱説明書で説明されている再生機能は、必ずしも全てのファイルやメディアで利用できるわけではありません。多くの要素によって制限される機能もあります。
- BD-ROMタイトルによって、正常に再生するためにUSBデバイス接続が必要になる場合があります。
- ファイナライズされていない VR フォーマットの DVD ディスクは、本機では再生できません。

ディスク/USB装置でのファイルの再生

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

このプレイヤーは、ディスクまたはUSB装置に含まれるビデオファイル、オーディオファイル、写真ファイルの再生が可能です。

1. データ ディスクをトレイに挿入するか、またはUSBデバイスを接続します。(USB デバイスを挿入すると、USB オプション・メニューが表示され、[ムービー]、 [写真]、[音楽] のいずれかが選択できるようになります。)
2. ◀/▶ ボタンで [ムービー]、 [写真]、または [音楽] 項目を選択してから、決定 (⦿) を押します。
3. ◀/▶ で [日付］または [USB] 項目を選択し、決定 (⦿) を押します。
4. ▲/▼/◀/▶ でファイルを選択してから、▶（再生） または 決定 (⦿) を押してファイルを再生します。

BD-Live™ を楽しむ

BD

BD-Live (BD-ROM Profile Version 2.0)はネットワーク拡張機能を有しています。これに対応しているBD-ROMを使用すると、新しい映画の予告編などの追加機能を楽しむことができます。
そのためには本機をインターネットに接続してください。

1. ネットワーク接続と設定を確認します (20 ページ参照)。
2. USBストレージ・デバイスを本機のUSBポートに挿入します。

   ボーナスコンテンツをダウンロードするには、USB ストレージデバイスが必要です
3. ホーム（ ）を押し、[設定]メニューの[BD-Live 接続]オプションを設定します (28 ページ)。

   [BD-Live 接続] の項目が [一部許可] に設定されていると、ディスクによってはBD-Live 機能が動作しない場合があります。
4. BD-Live 機能のある BD-ROM ディスクを挿入します。

   ディスクによって機能が異なります。 ディスクの取扱説明書を参照してください。

> **ご注意**
>
> コンテンツのダウンロード中や、Blu-ray Discがプレイヤーに入っているときに、接続しているUSBデバイスを引き抜かないでください。接続されている USB デバイスにダメージを与えることになり、このような USB デバイスでは BD-Live 機能を正常に動作できなくなります。このような行為により接続されていた USB デバイスがダメージしたのであれば、その USB デバイスをパソコンでフォーマットすることで、再び本機にて利用することができます。

> **ご注意**
>
> - コンテンツ提供者の意思により、アクセスが制限されている領域のある BD-Live コンテンツもあります。
> - ディスクを挿入して BD-Live コンテンツを再生できるまでに数分かかる場合があります。

ビデオおよびオーディオ コンテンツの基本操作

再生を停止するには

再生中に ■（停止）を押します。

再生を一時停止するには

再生中に II （一時停止）を押します。
▶（再生）を押すと、レジューム再生を開始します。

フレームバイフレームを再生するには（ビデオ）

映画の再生中に II （一時停止）を押します。
II (一時停止) を繰り返し押して 1 フレームずつコマ送りします。

早送り/早戻しをするには

再生中に ◀◀ または ▶▶ を押すと、早送り/早戻し再生になります。
◀◀ または ▶▶ を繰り返し押すと、早送り/早戻し再生のスピードを変えることができます。

スローモーションで再生するには

再生の一時停止中に、▶▶ を繰り返し押してスローモーションのスピードを変えて再生します。

次や前のチャプター/トラック/ファイルにスキップするには

再生中に I◀◀ または ▶▶I を押すと、次のチャプター/トラック/ファイルに移動したり、再生中のチャプター/トラック/ファイルの先頭に戻ることができます。

I◀◀ を素早く二度押すと、前のチャプター/トラック/ファイルに戻ります。

写真コンテンツの基本操作

スライド ショーを表示するには

スライド ショーを開始するには、▶ (再生) を押します。

スライド ショーを停止するには

スライド ショーの途中で ■ (停止) を押します。

スライド ショーを一時停止するには

スライド ショーの途中で Ⅱ (一時停止) を押します。
スライド ショーを再開するには、▶ (再生) を押します。

次/前の写真へスキップするには

全画面で写真を表示しているときに、◀ または ▶ を押して、前または次の写真に移動します

ディスク メニューの使用

BD **DVD** **AVCHD**

ディスク メニューを表示するには

メニュー画面は、メニューが含まれているディスクをロードした後、最初に表示されることがあります。再生中にディスク メニューを表示するには、ディスクメニュー を押します。

▲/▼/◀/▶ボタンを使用して、メニュー項目を移動します。

ポップアップ メニューを表示するには

一部のBD - ROMディスクには、再生中に表示されるポップアップメニューが含まれています。

再生中に タイトル/ポップアップ を押すと、▲/▼/◀/▶ボタンを使用して、メニュー項目を移動できます。

レジューム再生

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE** **ACD** **MUSIC**

ディスクによって、本機は ■ (停止) ボタンを押した位置を記録します。「Ⅱ■ (レジューム停止)」が画面にすぐに表示されたら、▶ (再生) を押して停止したシーンから再生を開始することができます。
■ (停止) を 2 度押したり、ディスクを取り出したりすると、「■ (完全な停止)」が画面に表示されます。本機が記憶した停止位置を解除します。

ご注意

- 開ポイントは、何かボタン(⏻ (POWER)など)を押すとクリアされる場合があります。
- BD-J付BD-ROMディスクでは、再生再開機能は作動しません。
- BD-ROM のインタラクティブ タイトルの再生中に ■ (停止) を一度押すと、本機は完全な停止モードになります。

ラストシーンメモリー

BD **DVD** **ACD**

本機は、最後に再生したディスクの最後に再生を止めたシーンをメモリーに記憶します。最後に再生を止めたシーンは、本機からディスクを取り出しても、本機の電源を切っても、メモリーに記憶されます。次回にシーンが記憶されたディスクを挿入すると、自動的にその位置から再生を開始します。

ご注意

- 別のディスクを再生すると、前回再生したディスクのラストシーンメモリー 機能は消去されます。
- ディスクによって、この機能が動作しない場合があります。
- BD-J付BD-ROMディスクでは、ラストシーンメモリー機能は作動しません。
- メモリーされたシーンの再生を開始する前に本機の電源を切ると、ディスクの設定は記憶されません。

4 操作

高度な再生

リピート再生

BD DVD AVCHD ACD MUSIC MOVIE

再生中に リピート を繰り返し押して、希望するリピートモードを選択します。

Blu-rayディスク/DVDs/ムービー

A- – 指定した区間が繰り返しリピート再生されます。

チャプタ – 現在再生中のチャプターが繰り返し再生されます。

タイトルー – 現在再生中のタイトルが繰り返し再生されます。
すべて – すべてのトラックやファイルが繰り返し再生されます。

通常の再生に戻るには、リピート を繰り返し押して [オフ] を選択します。

オーディオCD/音楽ファイル

A-B – 指定した区間が繰り返しリピート再生されます。(オーディオ CD のみ)

Track – 現在再生中のトラックが繰り返し再生されます。

All – すべてのトラックやファイルが繰り返し再生されます。

All – すべてのトラックやファイルがランダムに繰り返し再生されます。

– トラックやファイルがランダムに再生されます。

通常の再生に戻るには、クリア を押してください。

ご注意

- チャプター/トラックの再生中に ▶▶I (スキップ) を押すと、リピート再生は取り消されます。
- この機能はディスク、タイトル、ファイルタイプによっては作動しない場合があります。

区間指定のリピート

BD DVD AVCHD ACD MOVIE

本機は指定した区間をリピート再生することができます。

1. 再生中に リピート を押して、繰り返しを開始したい位置で[A-]を選択します。
2. 区間の終了地点で 決定 (⦿) を押します。指定した区間が繰り返しリピート再生されます。
3. 通常の再生に戻るには、リピート を繰り返し押して [オフ] を選択します。

ご注意

- 3 秒内の短い区間は指定できません。
- この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。

画面の拡大再生

BD DVD AVCHD MOVIE PHOTO

1. 再生または一時停止モード中に、ズームを押して [ズーム] メニューを表示します。
2. 赤 (R) または緑色 (G) のボタンで画像のズームアウトやズームインをします。▲/▼/◀/▶ ボタンでズームした画像内を移動することができます。
3. 通常の画像サイズに戻るには、黄色 (Y) のボタンを押します。
4. 戻る (↶) を押して [ズーム] メニューを終了します。

マーカー検索

BD DVD AVCHD MOVIE

記憶された9つのポイントから再生を開始できます。

マーカーを入力するには

1. 再生中に、希望するポイントで マーカー を押します。 テレビ画面にマーカーrアイコンが短く表示されます。
2. 手順1を繰り返すと、9つまでマーカーを追加できます。

マークを付けたシーン呼び出すには

1. サーチ を押すと、検索メニューが画面に表示されます。
2. メニュー ボタンを押して、呼び出したいマーカー番号を選択します。 マークを付けたシーンから再生が開始されます。

マーカーを削除するには

1. サーチ を押すと、検索メニューが画面に表示されます。

2. ▼を押してマーカー番号をハイライトします。◄/►を使用して、削除するマークの付いたシーンを選択します。
3. クリア を押すと、検索メニューからマークの付いたシーンが消去されます。

ご注意

- この機能は、ディスク、タイトル、ファイルのタイプによっては作動しない場合があります。
- タイトルが完全な停止(■)モードの場合、タイトルが変更された場合、または、ディスクをアンロードした場合は、マークされたポイントはすべて消去されます。
- タイトルの合計時間が10秒未満の場合は、この機能は利用できません。

検索メニューの使用

BD DVD AVCHD MOVIE

検索メニューを使用すると、再生を開始するポイントを簡単に探せます。

ポイントを検索するには

1. 再生中に サーチ を押して、検索メニューを表示します。

2. ◄/►を押すと、再生が前後に15秒間スキップします。 ◄/►ボタンを押し続けると、スキップするポイントを選択することができます。

マークの付いたシーンから再生を開始するには

1. サーチ を押すと、検索メニューが画面に表示されます。
2. ▼を押してマーカー番号をハイライトします。 ◄/►を使用して、再生を開始するマークの付いたシーンを選択します。
3. 決定 (◉)を押して、マークの付いたシーンから再生を開始します。

ご注意

この機能は、ディスク、タイトル、ファイルのタイプによっては作動しない場合があります。

4 操作

コンテンツリストの表示を変更する

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

［ムービー］、［音楽］または［写真］メニューで、コンテンツリストの表示を変更することができます。

方法 1

赤色 (R) ボタンを繰り返し押します。

方法 2

1. コンテンツリスト画面で、クイックメニュー (□) を押してオプションメニューを表示します。
2. ▲/▼ で［ビューを変更］項目を選択します。
3. 決定 (◉) を押してコンテンツリストの表示を変更します。

コンテンツ情報を見る

MOVIE

本機でコンテンツ情報を表示することができます。

1. ▲/▼/◀/▶ でファイルを選択します。
2. クイックメニュー (□) を押してオプションメニューを表示します。
3. ▲/▼ ボタンで [情報] 項目を選択してから、決定 (◉) を押します。

   ファイルの情報が画面に表示されます。

ビデオの再生中に タイトル/ポップアップ を押すと、ファイル情報を表示できます。

> **! ご注意**
>
> 画面に表示される情報は、実際のコンテンツ内容と異なる場合があります。

字幕ファイルを選択する

MOVIE

映画ファイルと字幕ファイルのファイル名が異なる場合は、映画を再生する前に［ムービー］メニューから字幕ファイルを選択する必要があります。

1. ▲/▼/◀/▶ で［ムービー］メニューから再生したい字幕ファイルを選択します。
2. 決定 (◉) を押します。

再度 決定(◉) を押して字幕ファイルの選択を解除します。 映画ファイルを再生すると、選択した字幕ファイルが表示されます。

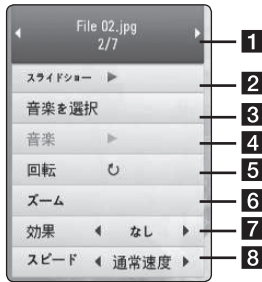
> **! ご注意**
>
> 再生中に ■(停止)を押すと、字幕選択がキャンセルされます。

4 操作

写真を見ながらできること

PHOTO

フルスクリーンでの写真の閲覧中に多彩なオプションをお楽しみいただけます。

1. フルスクリーンで写真を閲覧中に、クイックメニュー (□) を押してオプションメニューを表示します。
2. ▲/▼ で項目を選択します。

1 **現在の写真/写真の総数** – ◀ / ▶ で前/次の写真を表示します。

2 **スライドショー** – 決定(⦿) を押して、スライドショーを開始/一時停止します。

3 **音楽を選択** – スライドショーの BGM を選択します (36 ページ)。

4 **音楽** –決定 (⦿) を押して、BGM を開始/一時停止します。このオプションが機能するのは、[音楽を選択]オプションで音楽ファイル/フォルダを選択した場合に限られます。

5 **回転** – 決定 (⦿) を押して写真を時計回りに回転させせます。

6 **ズーム** – 決定 (⦿) を押して [ズーム] メニューを表示します (33 ページ)。

7 **効果** – ◀ / ▶ でスライドショーの写真間の切り換え効果を選択します。(なし、ランダム、スライド、ドア、格子)

8 **スピード** – ◀ / ▶ でスライドショーの写真間の表示速度を選択します。(標準、高速、減速)

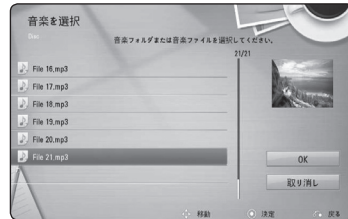
3. 戻る (↶) を押してオプションメニューを終了します。

スライドショー再生中に音楽を聴く

PHOTO

音楽ファイルを聴きながら写真ファイルを表示することができます。

1. フルスクリーンで写真を閲覧中に、クイックメニュー (□) を押してオプションメニューを表示します。
2. ▲/▼ で［音楽を選択］項目を選択してから 決定 (⦿) を押して、[音楽を選択] メニューを表示します。
3. ▲/▼ でデバイスを選択して、決定 (⦿) を押します。
4. ▲/▼ で再生したいファイルまたはフォルダーを選択します。

□ を選択してから 決定 (⦿) を押して、上の階層のディレクトリを表示します。

5. ▶ で［OK］を選択してから、決定 (⦿) を押して音楽の選択を終了します。

オンスクリーンディスプレイ

コンテンツのあらゆる情報や設定を表示したり調整したりすることができます。

コンテンツ情報を画面に表示する

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に クイックメニュー (□) を押して、いろいろな再生情報を表示します。

1	**タイトル** – 現在再生中のタイトル番号/総タイトル数
2	**チャプター** – 現在再生中のチャプター番号/総チャプター数
3	**時刻** – 再生経過時間/総再生時間
4	**オーディオ** – 選択されている音声言語やチャンネル
5	**字幕言語** – 選択されている字幕言語
6	**アングル** – 選択されているアングル数/総アングル数
7	**縦横比** – 選択されているテレビの画面比率
8	**ピクチャーモード** – 選択されている画像モード

2. ▲/▼ で項目を選択します。
3. ◀/▶ で選択されている項目の値を調整します。
4. 戻る (↶) を押して クイックメニューを終了します。

ご注意

- ボタンを 2､3 秒内に押して操作しないと､クイックメニューは消えます。
- タイトル番号を選択できないディスクがあります。
- 選択できる項目はディスクやタイトルによって異なる場合があります。
- インタラクティブBlu-rayディスクを再生する場合､設定情報がスクリーンに一部表示されますが､変更することは禁じられています。

時間サーチ再生

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に クイックメニュー (□) を押します。経過した再生時間が時刻サーチボックスに表示されます。
2. [時刻] 項目を選択し、開始時間を左から右に、時間、分、秒と順に入力します。

   例えば、2 時間 10 分 20 秒のシーンにサーチする場合は、「21020」と入力します。

   ◀/▶ を押すと、60 秒間ジャンプして早送りや早戻し再生ができます。
3. 決定 (◉) を押して、選択した時刻から再生を開始します。

ご注意

この機能は､ディスク､タイトル､ファイルのタイプによっては作動しない場合があります。

4 操作

別のオーディオを聞く

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に クイックメニュー (□) を押して、OSD 画面を表示します。
2. ▲/▼ で［オーディオ］項目を選択します。
3. ◄/► で希望する音声言語、オーディオトラック、またはオーディオチャンネルを選択します。

ご注意

- ディスクによっては、オーディオの選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ポップアップ または ディスクメニュー ボタンを押して、ディスクメニューから適切な音声を選んでください。
- サウンドを切り換えた直後に、表示サウンドと実際のサウンドとの間に一時的なずれが生じる場合があります。
- BD-ROM ディスクでは、マルチチャンネル オーディオ フォーマット（5.1CH または 7.1CH）は、[マルチ CH] と OSD 画面に表示されます。

字幕言語を選択する

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に クイックメニュー (□) を押して、OSD 画面を表示します。
2. ▲/▼ で［サブタイトル］項目を選択します。
3. ◄/► で希望する字幕言語を選択します。
4. 戻る (↺) を押して クイックメニューを終了します。

ご注意

ディスクによっては、字幕変更の選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ ポップアップ またはディスクメニュー ボタンを押して、ディスクメニューから適切な字幕を選んでください。

別のアングルから見る

BD DVD

違うカメラアングルで録画されたシーンがディスクに含まれている場合は、再生中に別のカメラアングルに切り換えることができます。

1. 再生中に クイックメニュー (□) を押して、OSD 画面を表示します。
2. ▲/▼ で［アングル］項目を選択します。
3. ◄/► で希望するアングルを選択します。
4. 戻る (↺) を押して クイックメニューを終了します。

テレビの縦横比を変更する

BD DVD AVCHD MOVIE

再生中にテレビの画面比率設定を変更することができます。

1. 再生中に クイックメニュー (□) を押して、OSD 画面を表示します。
2. ▲/▼ で［縦横比］項目を選択します。
3. ◄/► で希望する項目を選択します。
4. 戻る (↺) を押して クイックメニューを終了します。

画像モードを変更する

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

再生中に[ピクチャーモード]項目を変更することができます。

1. 再生中に クイックメニュー (□) を押して、OSD 画面を表示します。
2. ▲/▼ で［ピクチャーモード］項目を選択します。
3. ◄/► で希望する項目を選択します
4. 戻る (↶) を押して クイックメニューを終了します。

［ユーザー設定］項目を設定する

1. 再生中に クイックメニュー (□) を押して、OSD 画面を表示します。
2. ▲/▼ で［ピクチャーモード］項目を選択します。
3. ◄/► で［ユーザー設定］を選び、決定 (⦿) を押します。

4. ▲/▼/◄/► で［ピクチャーモード］の項目を調整します。

   [初期設定］項目を選択してから 決定 (⦿) を押し、すべての画像調整をリセットします。
5. ▲/▼/◄/► で［戻る］項目を選び、決定(⦿) を押して設定を終了します。

字幕コードページを変更する

MOVIE

字幕が正しく表示されない場合は、字幕コードのページを変更して字幕ファイルを適切に表示することができます。

1. 再生中に クイックメニュー (□) を押して、OSD 画面を表示します。
2. ▲/▼ で［DivX コード用ページ］項目を選択します。
3. ◄/► で希望するコードの項目を選択します。

4. 戻る (↶) を押して クイックメニューを終了します。

MP3音楽情報(ID3タグ)の表示

1. ▲/▼/◄/►で、音楽ファイルを選択します。
2. クイックメニュー (□)を押してオプションメニューを表示させます。
3. ▲/▼で[情報]オプションを選択し、決定 (⦿) を押します。
4. 音楽情報が画面に表示されます。

ご注意

MP3ファイルによっては、画面に情報が表示されない場合があります。

4 操作

オーディオ CD の録音

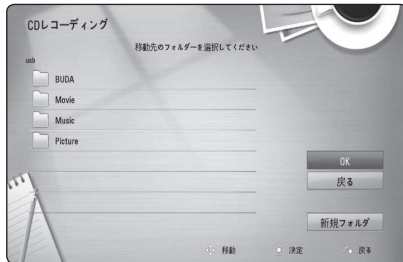
オーディオ CD から希望するトラックを 1 つ、または全トラックを USB ストレージデバイスに録音することができます。

1. USBストレージ・デバイスを本機のUSBポートに挿入します。
2. オーディオCDを挿入します。

   自動的に再生が開始されます。
3. クイックメニュー (□) を押してオプションメニューを表示します。
4. ▲/▼を使用して[CDレコーディング]を選択し、決定 (⦿)を押します。
5. ▲/▼を使用してメニューにコピーするトラックを選択し、決定 (⦿)を押します。

   この手順を繰り返して、好きな数だけトラックを選択します。

全て選択	オーディオ CD のトラックをすべて選択します。
オプション	ポップアップメニューからエンコードのレートを選択します (128 kbps、192 kbps、320 kbps)。
スタート	録音を中止し、前の画面に戻ります。

6. ▲/▼/◀/▶ で［スタート］を選び、決定 (⦿) を押します。
7. ▲/▼/◀/▶ でコピー先のフォルダーを選択します。

   新規フォルダーを作成する場合は、▲/▼/◀/▶ で［新規フォルダ］を選び、決定 (⦿) を押します。

   画面キーボードでフォルダー名を入力してから ［OK］ を選択し、決定 (⦿) を押します。
8. ▲/▼/◀/▶ で［OK］を選び、決定 (⦿) を押してオーディオ CD の録音を開始します。

   オーディオCD録音を停止するには、[取り消し]がハイライト状態のときに 決定 (⦿) を押します。
9. オーディオ CD の録音が完了するとメッセージが表示されます。
   決定 (⦿) を押して、コピー先フォルダーに作成された音楽ファイルを確認してください。

ご注意

- 次の表には、例として、再生時間 4 分のオーディオトラックを 192 kbps のエンコードレートで音楽ファイルに録音した場合の平均的な録音時間を表示しています。

停止モード	再生中
1 分	4 分

- 上の表の録音時間は概算です。
- USBストレージ装置の実際の録音時間は、USBストレージ装置によって異なります。
- USBストレージ装置に録音する場合は、最低50 MBの空き容量があることを確認してください。
- 適切に録音するには、オーディオの合計時間が20 秒以上である必要があります。
- オーディオCDの録音中は、本機の電源を切ったり、接続されたUSBストレージ装置を抜いたりしないでください。

ご注意

本機の録音またはコピー機能は、個人的および非営利目的のために提供されています。コンピュータ プログラム、ファイル、ブロードキャスト、録音など、著作権で保護された素材を許可なく複製すること
は、著作権の侵害や不法行為が成立する場合があります。この装置を、それらの目的で使用することはできません。当社は、違法配信または営利目的でのコンテンツの不正使用について、一切の責任を明示的に否認します。

NetCast™ エンターテインメント・アクセスを楽しむ

NetCast Entertainment Access 機能を利用して、インターネットからいろいろなコンテンツサービスをお楽しみいただけます。

1. ネットワークの接続と設定を確認します (20 ページ参照)。
2. ホーム (🏠) を押します。
3. ◄/► を使用して[NetCast]を選択し、決定 (⦿)を押します。

4. ◄/► で項目を選択し、決定 (⦿) を押します。

ご注意

- いずれかのサービスの詳細情報が必要な場合は、コンテンツ・プロバイダーに問い合わせるか、該当するサービスのサポートリンク先をご覧ください。
- NetCast サービスの内容と、ユーザー・インターフェースなど、同サービス関連の情報は、予告なく変更される場合があります。最新の情報については、各サービスのウェブサイトを参照してください。

トラブルシューティング

一般

症状	原因および解決策
電源が入らない。	• ACアダプターの電源プラグをコンセントに確実に接続してください。または、カーシガー電源アダプターをシガレット・ライター・ソケットに確実に接続してください。 • バッテリーが放電されました。充電してください。
再生しない。	• 再生可能なディスクを挿入してください 。(ディスクの種類、カラーシステム、リージョンコードを確認してください)。 • 再生面を下にしてディスクを置いてください。 • プレイヤー内のガイドに正しくディスクを置いてください。 • ディスクを拭いてください。 • レーティング機能を解除するか、レーティングのレベルを変更してください。
アングルを変更できない。	• 再生中の ブルーレイや DVD ビデオに複数のアングルが記録されてない。
音楽/写真/映画ファイルを再生できない。	• 本機で再生できるフォーマット形式でファイルが記録されていない。 • 映画ファイルのコーデックに本機が対応していない。
リモコンが正常に機能しない。	• 本機のリモコン受光部に向けてリモコンを操作していない。 • リモコンと本機との距離が離れている。 • 本機とリモコンの間に障害物がある。 • リモコンのバッテリーが消耗している。
電源プラグが接続されているのに電源が入らない、または切れない。	次の方法で本機をリセットしてください。 • 本機の電源スイッチでオフにしてから5秒待ち、再度オンにすると本機がリセットされます。
本機が正常に動作していない。	

ネットワーク

症状	原因および解決策
BD-Live 機能が動作しない。	• 接続されている USB ストレージの空き容量が不足している。1 GB 以上の空き容量のある USB ストレージを接続してください。 • 本機がローカルエリアネットワーク（LAN）に正しく接続され、インターネットにアクセスできる環境であるか確認してください (20 ページ参照)。 • BD-Live 機能を利用するには、十分な通信速度を確保したブロードバンド回線が必要です。ご利用のインターネットサービスプロバイダ（ISP）にお問い合わせいただき、ブロードバンド回線のスピードを速くすることを推奨します。 • [設定] メニューの [BD-Live 接続] の項目が [禁止] に設定されている。[許可] に設定してください。
YouTube™ などのビデオストリームサービスが、再生中に停止したり「バッファ」したりすることが多い。	• ビデオストリームサービスを利用するには、十分な通信速度を確保したブロードバンド回線が必要です。ご利用のインターネットサービスプロバイダ（ISP）にお問い合わせいただき、ブロードバンド回線のスピードを速くすることを推奨します。

画像

症状	原因および解決策
画像が映らない。	• テレビ画面に本機からの画像が映るように、適切な入力モードをテレビ側で選択してください。 • ビデオを確実に接続してください。 • [設定] メニューの [HDMIカラー設定] がビデオ接続に適合する項目に設定されているか確認してください。 • テレビが本機で設定している解像度に対応していない。テレビが対応する解像度に変更してください。 • 本機の HDMI 出力 端子が、著作権保護に対応しない DVI 機器に接続されている。
画像にノイズが現れる。	• テレビのカラーシステムと一致しない放送ステムで記録されたディスクを再生している。 • テレビが対応する解像度に変更してください。

音声

症状	原因および解決策
音が出ない、または音が乱れる。	• 音量が最小に設定されています。ボリュームで音量を調節してください。 • 本機のヘッドホン・ジャックにヘッドホンが接続されています。ヘッドホンを本機のヘッドホン・ジャックから抜いてください。 • オーディオを確実に接続してください。 • アンプの入力ソース設定またはアンプへの接続が間違っている。 • 本機がスキャン、スローモーション、一時停止モードになっている。 • 音量が低い。 • 接続されているアンプが本機から出力される音声フォーマットに対応しているか確認してください。 • 本機の HDMI 出力 端子が DVI 機器に接続されている。DVI 端子は音声信号に対応しません。 • 本機の HDMI 出力 端子に接続されている機器が本機から出力される音声フォーマットに対応するか確認してください。

カスタマー サポート

製品の動作機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、最新のソフトウェアに本機を更新することができます。本機の最新のソフトウェアを取得するには (更新がある場合)、http://lgservice.com にアクセスするか、当社カスタマーセンターにご相談ください。

オープン ソース ソフトウェアの通知

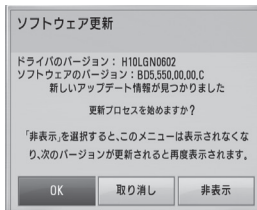
GPL、LGPL、およびその他のオープン ソース ライセンスに基づいた対応ソース コードを入手するには、http://opensource.lge.comを参照してください。ソース コードと同時に、関連するライセンス条項、免責、および著作権表示をすべてダウンロードすることができます。

ネットワークソフトウェアの更新

ネットワーク更新の通知

本機がブロードバンド回線のホームネットワークに接続されている場合は、そのつどに、パフォーマンスが向上した機能や追加機能を本機で入手できるようにすることができます。利用可能な新しいソフトウェアがあり、本機がブロードバンド回線のホームネットワークに接続されている場合は、本機が次のようにして更新情報を通知します。

オプション 1:

1. 本機の電源を入れると、画面に更新メニューが表示されます。
2. ◀/▶ で希望する項目を選び、決定 (⦿) を押します。

[OK]	ソフトウェアの更新を開始します。
[取り消し]	更新メニューを終了し、次回起動した時に表示します。
[非表示]	更新メニューを終了し、アップデートサーバに次のソフトウェアがアップロードされるまで表示されません。

オプション 2:

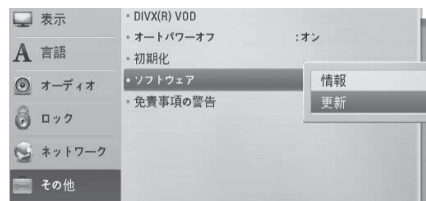
アップデートサーバに利用可能なソフトウェアの更新があると、「ソフトウェアの更新」アイコンがホームメニューの下部に表示されます。青色 (B) のボタンを押して更新手続きを開始します。

ソフトウェアの更新

製品の動作機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、最新のソフトウェアにて本機を更新することができます。本機をソフトウェア更新サーバに直接接続することで、ソフトウェアの更新ができます。

ご注意

- ソフトウェアの更新を行う前に、すべてのディスクと USB デバイスを本機から取り外してください。
- ソフトウェアの更新を行う前に本機の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
- **ソフトウェアの更新中は、本機の電源を切ったり、ac 電源からコンセントを抜いたり、ボタンを押したりしないでください。**
- 更新の手続きを取り消した場合は、パフォーマンスの安定性を保つために、一度電源を切ってから入れ直してください。
- 古いバージョンのソフトウェアに戻すことはできません。

1. ネットワーク接続と設定を確認します (20 ページ参照)。
2. [設定] メニューから [ソフトウェア] 項目を選択し、決定 (⦿) を押します。
3. [更新］項目を選択して、決定 (⦿) を押します。

本機が最新の更新状態であるか確認します。

ご注意

- 更新の確認をしている最中に 決定 (⦿) を押すと、作業は途中で終了します。
- 利用可能な更新がない場合は、「アップデートが見つかりません。」のメッセージが表示されます。決定 (⦿) を押して [ホームメニュー] に戻ります。

4. 新しいバージョンがある場合は、「新しいアップデート情報が見つかりました。ダウンロードしますか？」のメッセージが表示されます。

5. [OK] を選択して更新ファイルをダウンロードします。([取り消し] を選択すると更新が終了します)
6. 本機は、サーバから最新の更新ファイルのダウンロードを開始します。
(ホームネットワークの状態によってはダウンロードに数分かかります)
7. ダウンロードが完了すると、「ダウンロードが完了しました。アップデートしますか？」のメッセージが表示されます。
8. [OK] を選択して更新を開始してください。([取り消し] を選択すると更新を終了し、ダウンロードしたファイルを利用することはできません。次回にソフトウェアを更新する場合は、ソフトウェアの更新手順を初めから再度行ってください。

ご注意

ソフトウェアの更新中は電源を切らないでください。

9. 更新が完了すると、数秒のうちに、自動的に電源が切れます。
10. 電源を入れ直してください。システムが新しいバージョンで動作します。.

ご注意

ソフトウェア更新の機能は、お客様のインターネット環境によって正しく動作しない場合があります。この場合は、44 ページの「カスタマーサポート」を参照してください。

エリアコード一覧

このリストから国コードを選択してください。

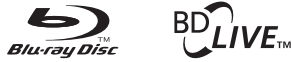
エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード
アフガニスタン	AF	フィジー	FJ	モナコ	MC	シンガポール	SG
アルゼンチン	AR	フィンランド	FI	モンゴル	MN	スロバキア共和国	SK
オーストラリア	AU	フランス	FR	モロッコ	MA	スロベニア	SI
オーストリア	AT	ドイツ	DE	ネパール	NP	南アフリカ	ZA
ベルギー	BE	英国	GB	オランダ	NL	韓国	KR
ブータン	BT	ギリシャ	GR	オランダ領アンティル諸島	AN	スペイン	ES
ボリビア	BO	グリーンランド	GL	ニュージーランド	NZ	スリランカ	LK
ブラジル	BR	香港	HK	ナイジェリア	NG	スウェーデン	SE
カンボジア -	KH	ハンガリー	HU	ノルウェー	NO	スイス	CH
カナダ	CA	インド	IN	オマーン	OM	台湾	TW
チリ	CL	インドネシア	ID	パキスタン	PK	タイ	TH
中国	CN	イスラエル	IL	パナマ	PA	トルコ	TR
コロンビア	CO	イタリア	IT	パラグアイ	PY	ウガンダ	UG
コンゴ	CG	ジャマイカ	JM	フィリピン	PH	ウクライナ	UA
コスタリカ	CR	日本	JP	ポーランド	PL	アメリカ合衆国	US
クロアチア	HR	ケニア	KE	ポルトガル	PT	ウルグアイ	UY
チェコ共和国	CZ	クウェート	KW	ルーマニア	RO	ウズベキスタン	UZ
デンマーク	DK	リビア	LY	ロシア連邦	RU	ベトナム	VN
エクアドル	EC	ルクセンブルク	LU	サウジアラビア	SA	ジンバブエ	ZW
エジプト	EG	マレーシア	MY	セネガル	SN		
エルサルバドル	SV	モルディブ諸島	MV				
エチオピア	ET	メキシコ	MX				

言語コード一覧

このリストを使用して、希望する言語を初期設定に入力してください。設定できるのは［ディスク音声言語］、［ディスク字幕言語］、［ディスクメニュー言語］です。

言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード
アファル語	6565	フランス語	7082	リトアニア語	7684	シンド語	8368
アフリカーンス語	6570	フリジア語	7089	マケドニア語	7775	シンハリー語	8373
アルバニア語	8381	ガリシア語	7176	マダガスカル語	7771	スロバキア語	8375
アムハラ語	6577	グルジア語	7565	マライ語	7783	スロベニア語	8376
アラブ語	6582	ドイツ語	6869	マラヤーラム語	7776	スペイン語	6983
アルメニア語	7289	ギリシャ語	6976	マオリ語	7773	スーダン語	8385
アッサム語	6583	グリーンランド語	7576	マラッタ語	7782	スワヒリ語	8387
アイマラ語	6588	グアラニー語	7178	モルダビア語	7779	スウェーデン語	8386
アゼルバイジャン語	6590	グジャラト語	7185	モンゴル語	7778	タガログ語	8476
バシキール語	6665	ハウサ語	7265	ナウル語	7865	タジク語	8471
バスク語	6985	ヘブライ語	7387	ネパール語	7869	タミール語	8465
ベンガル語	6678	ヒンディー語	7273	ノルウェー語	7879	テルグ語	8469
ブータン語	6890	ハンガリー語	7285	オーリヤ語	7982	タイ語	8472
ビハール語	6672	アイスランド語	7383	パンジャブ語	8065	トンガ語	8479
デルターニュ語	6682	インドネシア語	7378	パシュト語	8083	トルコ語	8482
ブルガリア語	6671	インターリングア語	7365	イラン語	7065	トルクメン語	8475
ビルマ語	7789	アイルランド語	7165	ポーランド語	8076	トウィ語	8487
ベロルシア語	6669	イタリア語	7384	ポルトガル語	8084	ウクライナ語	8575
中国語	9072	日本語	7465	ケチュア語	8185	ウルドゥー語	8582
クロアチア語	7282	カンナダ語	7578	ラエト語	8277	ウズベク語	8590
チェコ語	6783	カシミール語	7583	ルーマニア語	8279	ベトナム語	8673
デンマーク語	6865	カザフ語	7575	ロシア語	8285	ボラビュック語	8679
オランダ語	7876	キルギス語	7589	サモア語	8377	ウェールズ語	6789
英語	6978	韓国語	7579	サンスクリット語	8365	ウォロフ語	8779
エスペラント語	6979	クルド語	7585	スコットランド高地ゲール語	7168	ホサ語	8872
エストニア語	6984	ラオス語	7679	セルビア語	8382	イディッシュ語	7473
フェロー語	7079	ラテン語	7665	セルボ クロアチア語	8372	ヨルバ語	8979
フィジー	7074	ラトビア語	7686	ショナ語	8378	ズールー語	9085
フィンランド語	7073	リンガラ語	7678				

6 付録

商標およびライセンスについて

Blu-ray Disc™、Blu-ray™、BD-Live™、BONUSVIEW™、およびそれらのロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。

Java およびすべてのJava 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

HDMI、HDMIのロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI licensing LLCの商標または登録商標です。

DOLBY
TRUEHD
DIGITAL PLUS

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

U.S.のライセンスの下に製造されています。特許番号5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,212,872; 7,333,929; 7,392,195; 7,272,567 および他のU.S. および世界中の特許発行および保留
DTSおよびそのシンボルはDTS, Inの登録商標です。また、DTS-HD、DTS-HD Master Audio、およびDTSのロゴは、DTS, Inの商標です。製品にはソフトウェアが含まれています。

「DVD ロゴ」は、DVD フォーマットロゴライセンス (株) の商標です。

「x.v.Color」 はソニー株式会社の商標です。

「AVCHD」 および 「AVCHD」 ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

DivX®、DivX Certified®、および関連ロゴはDivX, Incの商標であり、ライセンスの下に使用されます。

オーディオ出力の仕様

端子と設定 / 種類	HDMI OUT			
	PCM ステレオ	PCM Multi-Ch	DTS再エンコード *3	プライマリパススルー *1 *2
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS (2ch)	Dolby TrueHD
DTS	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	DTS-HD
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Linear PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	Linear PCM 5.1ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	Linear PCM 7.1ch

*1 [HDMI]オプションを[プライマリパススルー]に設定すると、セカンダリ/インタラクティブ・オーディオが出力ビットストリームに含まれない場合があります(出力に常にインタラクティブ/セカンダリ・オーディオが含まれるLPCMコーデックを除く)。

*2 当プレイヤーは、[HDMI]オプションが[プライマリパススルー]に設定されている場合でも、接続されているHDMIデバイスのデコーディング機能に応じて自動的にHDMIオーディオを選択します。

*3 [HDMI]オプションを[DTS再エンコード]に設定すると、オーディオ出力は48 kHz/5.1Chに限定されます。[DTS再エンコード]に設定すると、BD-ROMディスクのDTS再エンコード・オーディオと、その他のディスクのオリジナルのオーディオが([プライマリパススルー]のときと同様に)出力されます。

- MP3/WMAファイルの場合は、PCM 48 kHz/16 ビットのオーディオで、オーディオCDの場合は、PCM 44.1 kHz/16ビットのオーディオで出力再生されます。
- [設定]メニューの[HDMI]および[サンプリング周波数]で、お手持ちのアンプが許容するデジタル・オーディオ出力および最大サンプリング周波数を選択する必要があります。(26 ページ参照)
- HDMIデジタル・オーディオ接続の場合に、[HDMI]オプションを[プライマリパススルー]に設定すると、BD-ROMのDisc Menuボタンの音声が聴こえない場合があります。
- HDMIデジタル出力のオーディオ・フォーマットがお手持ちのレシーバーの機能に適合しない場合、レシーバーから歪んだ大きな音声が発せられるか、まったく音声が発せられません。
- HDMI接続で、マルチチャンネル・サラウンド・サウンドが得られるのは、お手持ちのレシーバーにデジタル・マルチチャンネル・デコーダーが付属している場合に限られます。

仕様

一般	
電源 (DC 12V IN端子)	12 V ⎓ 2 A
ACアダプター	100 - 240 V、1 A、50/60 Hz
シガー電源アダプター	8.5 V -16 V DC
消費電力	18 W
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	約 281 x 41 x 174.5 mm
本体質量 (概算)	1.4 kg
許容周囲温度	5 °C - 40 °C
許容相対湿度	5 % - 90 %

出力	
AUDIO/VIDEO OUT	• ø 3.5 mm ミニジャック x 1 • Video Out:1.0 V (p-p)、75 Ω、同期極性: ネガティブ • Audio Out: 1.5 Vrms (1 kHz、0 dB)
HDMI 出力 (映像/音声)	19ピン (タイプA、HDMI™ Connector)
ヘッドホン端子	ø 3.5 mm ステレオ・ミニジャック x 2

システム	
レーザー	半導体レーザー
波長	405 nm / 650 nm
信号システム	標準 NTSC テレビ放送システム
周波数特性	20 Hz 〜 20 kHz (48 Hz、96 kHz、192 kHz サンプリング)
S/N 比	90 dB以上(AV OUTコネクターのみ)
全高調波歪率	0.02 % 未満
ダイナミックレンジ	85 dB 以上
LAN ポート	Ethernet コネクター 1系統、10BASE-T/100BASE-TX
バスパワーサプライ (USB)	DC 5 V ⎓ 500 mA

液晶ディスプレイ	
パネル・サイズ	22.9 cm (対角線)
投射システム	R.G.B. ストライプ
作動システム	TFTアクティブ・マトリクス方式
解像度	800 x 480 (WVGA)

- 外観や仕様は予告なしに変更する場合があります。

6 付録

お手入れについて

機器の取り扱い

機器を輸送するとき

製品の出荷カートンと梱包材は保管してください。本機を輸送する必要が生じたときは、破損を避けるために、工場出荷時に梱包されていたように再梱包してください。

機器のお手入れ

本機のお手入れには、乾いた柔らかい布を使用してください。表面がかなり汚れている場合は、薄めた洗剤液で軽く湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。アルコールやベンジン、シンナーなどの強い溶剤は、機器の表面を傷つける恐れがありますので使用しないでください。

外部表面をクリーンな状態に保つ には。

- 本機のそばで殺虫剤スプレーなどの揮発性の液体を使用しないでください。
- 強く拭き取ると表面を傷つけることがあります。
- ゴムやプラスチック製品を長時間本機に触れたままにしないでください。

機器のメンテナンス

この機器は高性能な精密装置です。光ピックアップレンズやディスクドライブ部分が汚れたり消耗したりすると、画質が低下する可能性があります。詳細についてはカスタマーセンターにお問い合わせください。

ディスクについてのご注意

ディスクの取り扱い

ディスクの再生面には手を触れないでください。表面に指紋が付かないように、ディスクの両端を持ちます。ディスクに紙やテープなどを絶対に貼らないでください。

ディスクの保管

ご使用後はディスクを所定の保護ケースに入れて保管してください。ディスクを直接日光の当たる場所や高温になる場所に置かないでください。絶対に直射日光の当たる車内に放置したままにしないでください。

ディスクのお手入れ

指紋やほこりによるディスクの汚れは、画質の乱れや音質の低下の原因になります。再生する前に、きれいな布でディスクを拭き取ってください。ディスクの中央から外へ向かって拭いていきます。

アルコールやベンジン、シンナー、市販のクリーナー、または古いビニールレコード用の静電気防止スプレーなどの強い溶剤は使用しないでください。

ネットワーク サービスに関する重要な情報

第三者によって、または第三者を通じて（それぞれ以下「サービス プロバイダ」といいます）提供されるか、または利用可能となる、すべての情報、データ、ドキュメント、通信、ダウンロード、ファイル、テキスト、画像、写真、グラフィックス、ビデオ、ウェブキャスト、出版物、ツール、リソース、ソフトウェア、コード、プログラム、アプレット、ウィジェット、アプリケーション、プロダクト、その他のコンテンツ（以下「コンテンツ」といいます）、およびすべてのサービスと提供物（以下「サービス」といいます）に関する責任は、それを提供するサービス プロバイダ側にあります。

本機を通じてサービス プロバイダが提供するコンテンツおよびサービスの利用可能性およびアクセス手段は、事前の通知なく変更される場合があります。これには、コンテンツまたはサービスの全部または一部の一時中断、削除または停止が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

コンテンツまたはサービスに関するすべての質問または問題については、サービス プロバイダのWebサイトで最新の情報を参照するものとします。当社は、コンテンツまたはサービスに関する顧客サービスの責任または法的義務を一切負いません。コンテンツまたはサービスに関するいかなる質問または要望も、それぞれのコンテンツおよびサービス プロバイダに直接連絡する必要があります。

当社は、サービス プロバイダが提供するいかなるコンテンツまたはサービスにも責任を負わず、かかるコンテンツまたはサービスのいかなる変更、削除、停止にも責任を負わず、かかるコンテンツまたはサービスの利用可能性またはアクセス方法を保証または確約しないことに ご 注意してください。

修理の受付・操作・故障に関するお問合せ窓口

LG Electronics Japan (株)カスタマーセンター

（フリーダイヤル） **0120-813-023**

受付時間: 9:00～20:00、土日祝:9:00～18:00
フリーダイヤルが掛かり難い場合は03-5675-7323までご連絡下さい。

修理に関するご案内

「故障かな?」と思ったら、取扱説明書を再度確認していただき、直らない場合には弊社まで修理をご依頼ください。

保証書に「出張修理」と明記してあるものや、冷蔵庫・洗濯機・エアコン・大型テレビなどの大型家電製品は出張修理をおこないます。
弊社カスタマーセンターまでご依頼ください。
＜持込修理依頼方法＞
お買上げの販売店様に製品を持込んでいただくか、最寄の弊社サービスステーションまで直接製品の送付をお願いいたします。

[持込修理送付先]　2010年3月現在

窓口名	所在地	電話番号	サービスエリア
札幌サービスステーション	〒065-0018 北海道札幌市東区北18条東8-1-26	TEL 011-742-9603 FAX 011-704-6110	北海道全域
仙台サービスステーション	〒989-3128 宮城県仙台市青葉区愛子中央3-25-7	TEL 022-391-0488 FAX 022-391-0278	青森　岩手　秋田 宮城　福島　山形
関東サービスステーション	〒358-0026 埼玉県入間市小谷田2-1-40	TEL 04-2965-8385 FAX 04-2965-7082	新潟　群馬　茨城　栃木 埼玉　長野　静岡(東部) 東京　千葉　山梨
神奈川サービスステーション	〒251-0003 神奈川県藤沢市柄沢176小池ビル1F	TEL 0466-26-9510 FAX 0466-25-9269	神奈川県全域
名古屋サービスステーション	〒481-0002 愛知県北名古屋市片場大石62	TEL 0568-25-6535 FAX 0568-25-2801	愛知　岐阜 静岡(西部)三重
北陸サービスステーション	〒920-3131 石川県金沢市百坂町ロ88番	TEL 076-257-0839 FAX 076-258-5932	石川　富山　福井
大阪サービスステーション	〒571-0070 大阪府門真市上野口町57-18	TEL 072-885-0445 FAX 072-881-3145	大阪　京都　奈良 滋賀　兵庫　和歌山
岡山サービスステーション	〒701-0206 岡山県岡山市箕島377-4	TEL 086-281-0666 FAX 086-281-8884	岡山　広島　山口 島根　鳥取
高知サービスステーション	〒780-8040 高知県高知市神田2384-6	TEL 088-831-6993 FAX 088-832-0922	香川　徳島　愛媛 高知
福岡サービスステーション	〒811-3224 福岡県福津市手光1935	TEL 0940-43-7710 FAX 0940-43-7712	福岡　長崎　佐賀　大分 宮崎　熊本　鹿児島
沖縄サ　ビスステーション (沖縄太陽サービスセンター)	〒901-2134 沖縄県島尻郡南風原町宮平641-1	TEL 098-995-9540 FAX 098-995-9541	沖縄

※窓口,電話番号,所在地,サービスエリアは変更する場合がありますのでご了承願います。

LG Electronics Japan 株式会社

〒107-8512　東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワー本館9階